I-O DATA

ポータブルオーディオプレーヤー
MDM-H2/USB
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

81084-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- HyperHyde は、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MDM-H2/USB 取扱説明書
2000.0ct.10 81084-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

はじめに

このたびは、ポータブルオーディオプレーヤー「HyperHyde」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

スムーズに作業を進めるために

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。

HyperHyde の基本的な使い方を説明しています。必ずお読みください。
……第１章

↓

HyperHyde をインストールし、音楽を録音するまでの作業を説明しています。
ご使用のパソコンによって作業が異なりますので、必要なページを参照してください。
Windows の場合……第２章
Macintosh の場合……第３章

↓

HyperHyde で音楽を再生する方法を説明しています。
Windows、Macintosh 共通……第４章

↓

HyperHyde をボイスメモとして使う方法を説明しています。
Windows、Macintosh 共通……第５章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me/98	Windows 98 および Windows Me の総称
Windows	Windows 98、Windows Me、Windows 2000 の総称

使用上の注意事項

安全上のご注意

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） **「発火注意」を表す絵表示**

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） **「分解禁止」を表す絵表示**

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） **「電源プラグを抜く」を表す絵表示**

警告

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

厳守

マルチメディアカードや電池はお子様の手の届かない所に保管してください。

マルチメディアカードや電池を取り外して保管するときは、小さなお子様が誤って飲み込むことがないように、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

イヤホンで聞きながら、自動車の運転や歩行はしないでください。

特に踏切や交差点などでは回りの音が聞こえず、交通事故の原因となります。

注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない

注意

本製品は一般オフィスや家庭のOA機器ないしホビー用途の製品として設計されていますので、一般機器より高い信頼性が要求される用途や、医療機器のような極めて高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

禁止

第三者に便宜を図る目的で MP3 データを作成することは法律で禁止されています。

著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、ＭＰ３データを作成することは違法です。
また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオＣＤなどの複製・無料/有料を問わずの配布、インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。

注意

指定した電池を正しい方向（プラス・マイナス）で入れてください。

指定以外の電池は使用しないでください。また、プラスとマイナスは正しく入れてください。間違えると、電池の液漏れや破裂などにより、火災やケガ、機器破損の原因となります。

注意

１ケ月以上使用しないときは、電池を抜いてください。

電池から液漏れし、火災やケガ、機器破損の原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの回りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。

禁止

録音・再生中は絶対にマルチメディアカードを抜かないでください。

機器故障の原因になります。マルチメディアカードを抜くときは、必ずストップ状態（メインランプと録音ランプが両方とも消灯している状態）で行ってください。

はじめに ····· i
使用上の注意事項 ····· iii
目次 ····· vii

1 HyperHyde で遊ぼう

箱の中身は ····· 1
HyperHyde って？ ····· 4
ボタンとランプ ····· 6
ランプの色と状態 ····· 8
電池を入れる ····· 10
ベルトホルダーを付ける ····· 12
ネックピースを付ける ····· 13
カードを入れる ····· 14
パソコン側の動作環境 ····· 16
ユーザー登録をする ····· 18

2 音楽を録音しよう（Windows 編）

音楽を楽しむまでのプロセス ····· 19
パソコン側の準備 ····· 21
パソコンと HyperHyde を接続する ····· 23
MP3 データを用意する ····· 28
HyperHyde に録音する ····· 37
HyperHyde を取り外す ····· 45
インストールした情報を削除するには ····· 47

3 音楽を録音しよう（Macintosh 編）

音楽を楽しむまでのプロセス ……53
パソコン側の準備 ……55
パソコンと HyperHyde を接続する ……58
MP3 データを用意する ……60
HyperHyde に録音する ……69
インストールした情報を削除するには ……70

4 音楽を聴こう

HyperHyde で音楽を聴く ……73

5 ボイスメモしよう

ボイスメモを録音する ……80
ボイスメモを聞く ……82
パソコンでボイスメモを活用するには（Windows 編） ……87
パソコンでボイスメモを活用するには（Macintosh 編） ……94

6 故障かなと思う前に

トラブル Q&A＜目次＞……97
トラブル Q&A……99
簡単なお手入れ……110

7 付　録

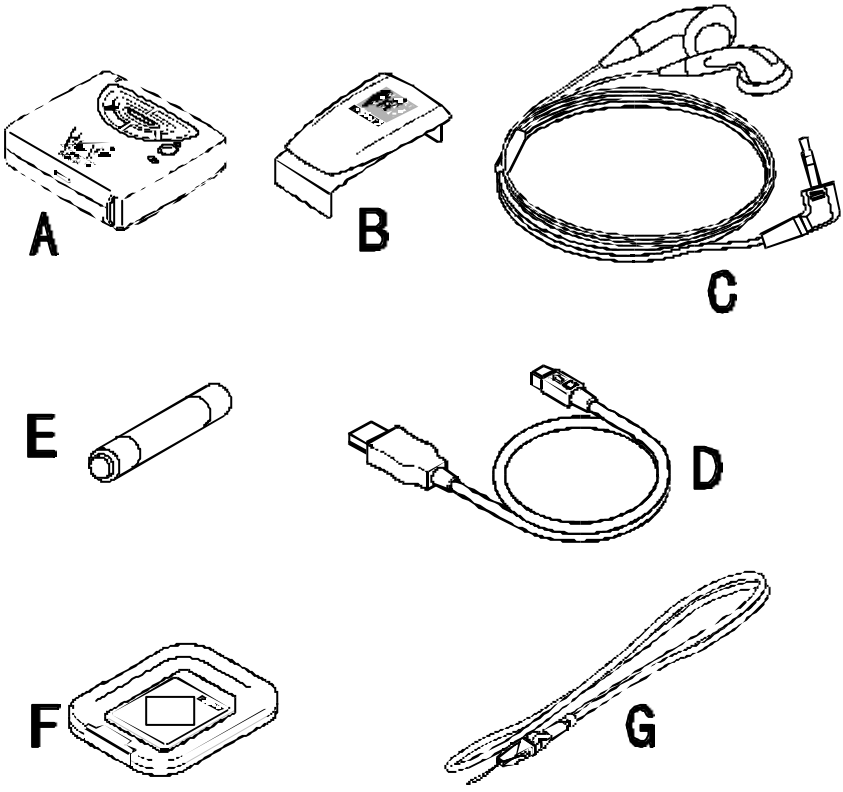
ハードウェア仕様……111
用語解説……112
アフターサービス……114

MEMO

1 HyperHyde で遊ぼう

箱の中身は

箱の中身をご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。



箱の中身は

チェック	№	内容物	個数
	A	HyperHyde 本体	1個
	B	ベルトホルダー	1個
	C	ステレオイヤホン	1本
	D	専用 USB ケーブル	1本
	E	単４電池（動作確認用）	1個
	F	マルチメディアカード[キャリングケース入り]	1枚
	G	特製ネックピース	1本
	—	「サポートソフト」CD-ROM ディスク このディスクには以下のものが含まれています。 ● HyperHyde Manager for USB ● MP3 JUKEBOX Windows 版および Macintosh 版 ● 同上のオンラインマニュアル（PDF ファイル） ● Adobe Acrobat Reader（PDF ファイルを読むためのソフトウェア）	1枚
✔	-	HyperHyde 取扱説明書（本書）	1冊
	-	操作早見表	1冊
	-	ユーザー登録カード	1枚
	-	ハードウェア保証書	1枚
	-	シリアル NO シール	1枚

チェック欄に✔を付けて梱包品のチェックを行ってください。

注意！

1. **箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。**

MP3 JUKEBOX について

本製品に添付されている「MP3 JUKEBOX Windows 版」および「MP3 JUKEBOX Macintosh 版」は弊社ではサポートしておりません。お問い合わせは下記までお願いします。

MP3 JUKEBOX に関するお問い合わせ先

株式会社 住友金属システムソリューションズ
ソフトウェアプロダクト部　SMI Soft サポートセンター
住所　〒108-0073　東京都港区三田 3-11-36 三田日東ダイビル
TEL　03-5476-9825
受付時間：月～金曜日　10：00～12:00　13:00～16:30
（祝祭日、休業日を除く）
FAX　03-5476-9886
URL　http://www.smisoft.ssd.co.jp/supp/index.html

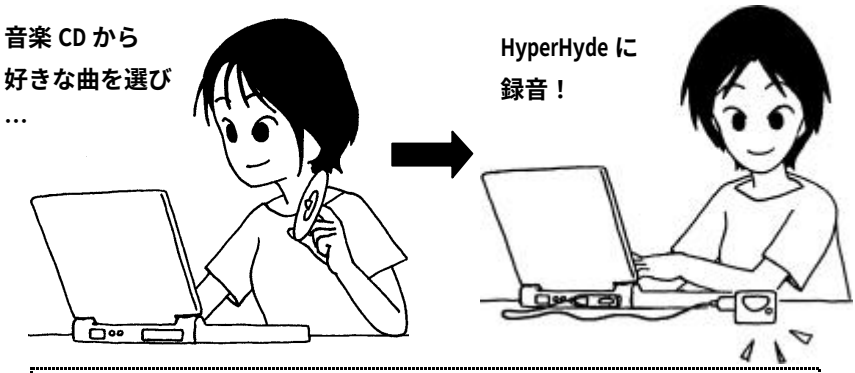
注意！

本製品に添付されている「MP3 JUKEBOX Windows 版」はWindows 98 専用です。Windows Me、Windows 2000 をお使いの場合は、ご使用のＯＳ に対応したＭＰ３ データ変換ソフトを別途ご用意いただくか、ＭＰ３ データそのものをご用意ください。

HyperHyde って？

いつでも、どこでも音楽を

HyperHyde は「ひと口サイズ」の超小型・超軽量のオーディオプレーヤー。内蔵メモリやマルチメディアカードに好きな音楽を録音すれば、いつでもどこでも音楽が楽しめます。



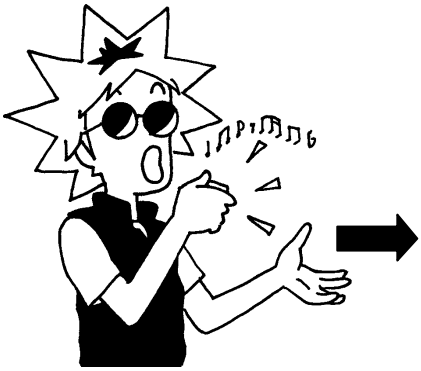
これだけで、*Anytime and Anywhere　……　with Music!*

小さくて音飛びしないから、どんなときだって、高音質が楽しめちゃう。
連続 6 時間の長時間再生が心強い味方！

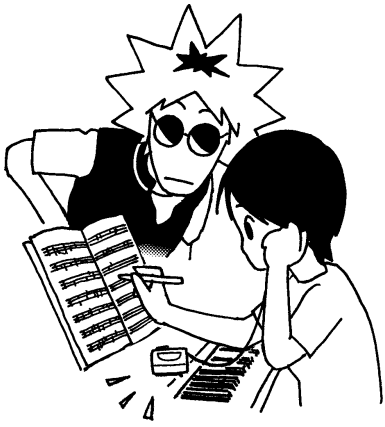
道路上ではマネしないでね。
公園や広場など、交通事故の恐れのないところでお楽しみください。

なんでも録音しちゃおう

もう１つ、HyperHyde の便利な機能が「ボイスメモ」。音の出るものなら、なんだって録音できます。さあ、あなたならどんな使い方をしますか？



ふと思い浮かんだメロディーを
その場で録音…



再生して楽譜作りに…

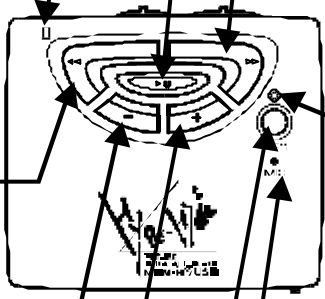
旅行先でのメモ代わりに…
記者気分でインタビューにも

その他にも

- 会議メモとして議事録作りに。
- 友達との音声交換日記に。
- 家族への留守伝言に。
- スケジュール帳の代わりに。

書くのが面倒なときに、いつでも
スイッチポンで録音開始。
ボイスメモの活用方法は無限大です。

ボタンとランプ



■再生ボタン（P74,83）

音楽やボイスメモを再生・停止します。
長押しするとストップ状態になります。

■メインランプ（P73,80,83）

ストップ状態で消灯。
点灯または点滅で、現在の状態を知らせます。
また、点灯色で電池の残量を知らせます。

■曲送りボタン／早送りボタン（P75,77,84）

再生中に押すと、次の曲や次のボイスメモを再生します。
長押しすると、再生中の曲を早送りします。

■録音ランプ（P74,77,80,81,82）

ストップ状態で消灯。
ボイスメモ使用中に点灯または点滅して、現在の状態を知らせます。
また、メディア選択時は、点灯色で選択されたメディアを知らせます。

■曲戻しボタン（P75,77,84）

再生中に押すと、再生中の曲やボイスメモの先頭から再生します。2度続けて押すと、前の曲や前のボイスメモを再生します。

■マイク

ボイスメモ録音時の集音マイクです。

■音量－ボタン（P73,76,80,82）

再生中に押すと、音量が下がります。
ストップ状態で押すと、音楽とボイスメモのモードが切り替わります。

■録音ボタン（P76,77,81,85）

ボイスメモの録音開始および終了時に押します。また、レジューム機能をキャンセルするときにも使います。

■音量＋ボタン（P74,76,80,82）

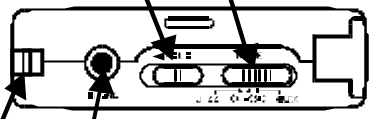
再生中に押すと、音量が上がります。
ストップ状態で押すと、内蔵メモリとマルチメディアカードの選択ができます。

■ホールドボタン（P76,85）

ホールド位置にすると、一切のボタン操作を無効にします（誤操作防止）。

■音質ボタン（P76）

音楽モードのとき、音質を切り替えます。

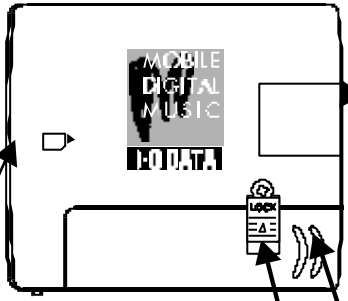


■ネックピースホール（P13）

付属のネックピースを付けます。

■イヤホンジャック（P73,82）

付属のイヤホンを差し込みます。



■USB コネクタ（P23,45,58）

パソコンと接続するときに、ラバーカバーを外して、添付の USB ケーブルを差し込みます。

■電池カバー（P10）

カバーを開けて、単４アルカリ乾電池を入れます。

■カードスロット（P14）

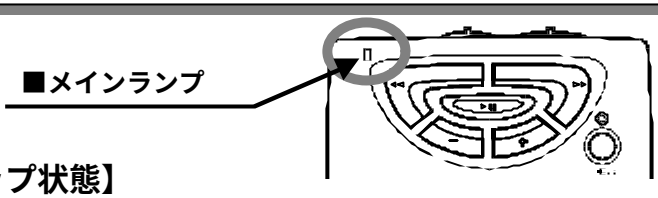
カバーを開けて、マルチメディアカードを入れます。

■電池カバーロック（P10）

電池カバーが外れないようにロックします。

ランプの色と状態

メインランプ



【ストップ状態】

消灯しています。メインランプと録音ランプがともに消灯している状態が、電源 OFF となっている状態です。

【音楽、ボイスメモ再生時】(74,83 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点灯	再生中（電池の残量 1/3 以上）
赤	点灯	再生中（電池の残量 1/3 未満）

※各色ともに、点滅中は一時停止状態を表します。

【ボイスメモ録音時】(81 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点灯	録音中（電池の残量 1/3 以上）
赤	点灯	録音中（電池の残量 1/3 未満）

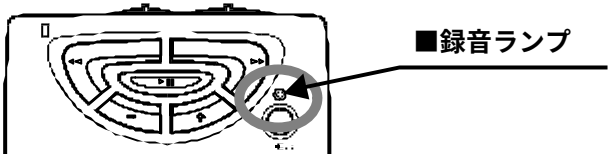
【モード切り替え時】([音量－]ボタン押下時：73,80,82 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点灯	音楽モード
赤	点灯	ボイスメモモード

【パソコンとの接続時】(24,59 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
赤	点灯	パソコンとの接続中
	点滅	HyperHyde へのアクセス中

録音ランプ



【ストップ状態】

消灯しています。メインランプと録音ランプがともに消灯している状態が、電源 OFF となっている状態です。

【ボイスメモの録音時】(81 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点滅	録音中（空き容量 1/3 以上）
赤	点滅	録音中（空き容量 1/3 未満）

【ボイスメモの再生時】(83 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点灯	再生中

【メディア切り替え時】([音量＋]ボタン押下時：74,80,82 ページ)

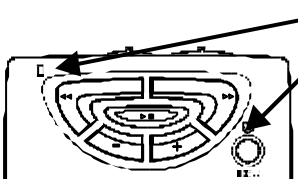
ランプの色	ランプの状態	意味
緑	点灯	内蔵メモリ選択
赤	点灯	マルチメディアカード選択

【メディア消去時】(77,86 ページ)

ランプの色	ランプの状態	意味
赤	点滅	メディア消去中

電池を入れる

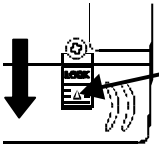
付属の乾電池は動作確認用です。できるだけ早く新しい電池と取り替えてください。必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。



1 ストップ状態を確認する

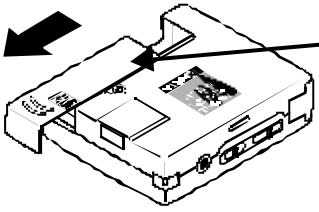
メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

ストップ状態でないとき（再生中や録音中）は絶対に電池を取り替えないでください。



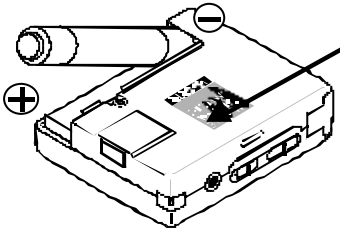
2 電池カバーのロックを解除する

HyperHyde 裏面のロックボタンを図の状態までスライドさせて、ロックを解除します。



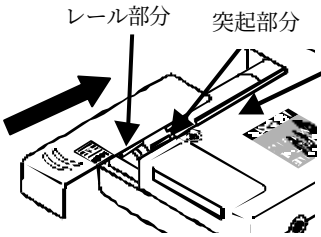
3 電池カバーを外す

電池カバーをスライドさせて、取り外します。
外しにくいときは、電池カバーにある三日月型のミゾにツメをひっかけて外してください。



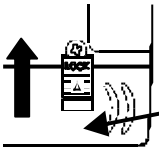
4 単 4 アルカリ乾電池を入れる

電池のプラス・マイナスに注意してセットします。最後まできちんとセットしてください。



5 電池カバーを閉じる

電池カバーのレールと、HyperHyde の突起部分を合わせてから、まっすぐにスライドして閉じてください。溝と突起部分が一致していないと、ピタッと閉じることができません。カチッと音がするまで差し込んでください。

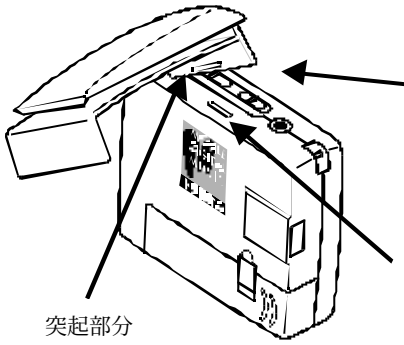


6 電池カバーをロックする

ロックボタンを左図の状態までスライドさせて、ロックします。

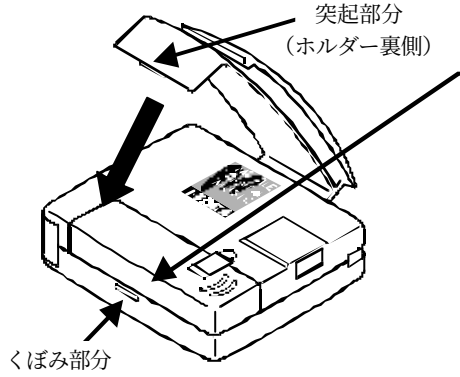
ベルトホルダーを付ける

HyperHyde には携帯用のベルトホルダーが付いています。ご自分の使い方に合わせて、ご利用ください。



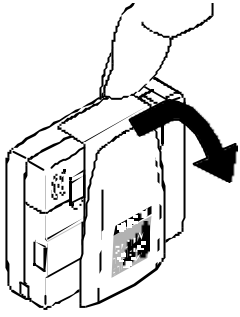
1 ホルダーの上部分をつける

ベルトホルダーの突起部分と、HyperHyde 上部のくぼみを合わせます。



2 ホルダーの下部分をつける

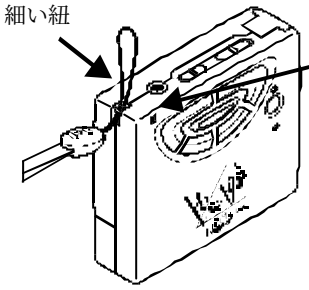
ホルダーの突起部分と、HyperHyde 上部のくぼみを合わせます。
カチッと音がするまで差し込んでください。



ベルトホルダーを外すときは、ホルダーの下部分にツメを引っ掛けて外してください。

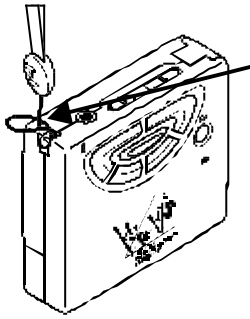
ネックピースを付ける

HyperHyde には特製ネックピースが付いています。ご自分の使い方に合わせて、ご利用ください。



1 細い紐をホールに通す

付属のネックピースの細い紐を、HyperHyde のネックピースホールに通します。



2 細い紐にネックピース全体を通す

ホールに通した細い紐に、ネックピース全体を通してから、ネックピースを引っ張って最後まで締めてください。

カードを入れる

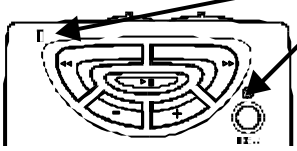
HyperHyde には内蔵メモリのほかに、マルチメディアカード（以下、単にカードと呼びます）を入れることができるカードスロットがあります。

※市販のSD カードとは互換性がなく、本製品では使用できません。

※カード先端に細い溝のないカードの使用はさけてください。取り出せなくなる可能性があります。

カードを入れるには

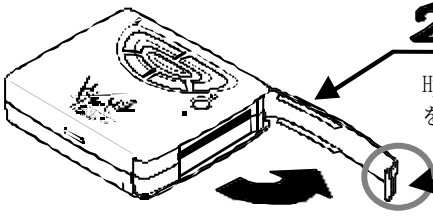
1 ストップ状態を確認する



メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

ストップ状態でないとき（再生中や録音中）は絶対にカードを入れないでください。

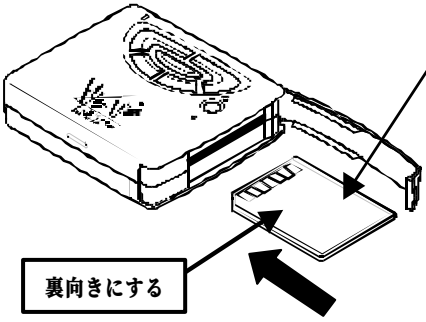
2 スロットカバーを開ける



HyperHyde 下側のスロットカバーのツメ部分を持って、カバーを開けます。

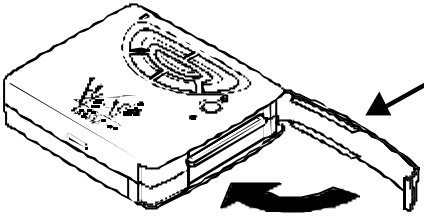
ツメ部分

3 カードを裏向きにして入れる



カードは裏向き（金色端子面を上）にし、端子面を奥にして挿入します。奥まできちんと入れてください。

<u>カードは裏向きに挿入します</u>。
カードが奥まで入らないときは、無理に差し込まず、カードの向きを確認してください。

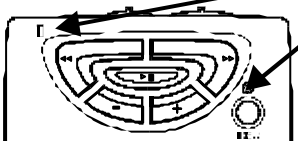


4 スロットカバーを閉じる

カチッと音がするまで閉じてください。

カードを抜くには

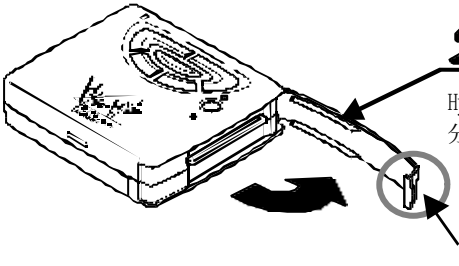
1 ストップ状態を確認する



メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

ストップ状態でないとき（再生中や録音中）は絶対にカードを抜かないでください。

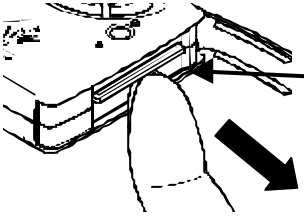
2 スロットカバーを開ける



HyperHyde 下側のスロットカバーのツメ部分を持って、カバーを開けます。

ツメ部分

3 カードを抜く



カード先端にある細い溝にツメをかけて、まっすぐにカードを抜いてください。
（左図の状態では溝はカードの下側になります。）

最後にスロットカバーを閉じてください。抜いたカードは付属のキャリングケースに入れて、お子様などの手が届かない場所に保管してください。

パソコン側の動作環境

HyperHyde の内蔵メモリまたはカードに音楽を録音するためには、以下のようなパソコン環境が必要です。（ボイスメモを録音する場合は特にパソコンは必要ありません）

■Windows 搭載パソコン■

対応機種	NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン ※弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。
CPU	MMX Pentium 166MHz 以上 （PentiumⅡ 266MHz 以上推奨）
対応 OS （日本語版）	Windows Me Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
メインメモリ	32M バイト以上（64M バイト以上を推奨）
ハードディスク	30M バイト以上の空き領域が必要
CD-ROM	16 倍速以上で、デジタル抽出可能なドライブ （オーディオキャプチャ対応） ※ノートパソコンをお使いの場合で、パソコン本体に CD-ROM ドライブがない場合は、別途オーディオキャプチャ対応 CD-ROM ドライブ（弊社製 CDP-AX24T/CBIDE 等）をご用意ください。
USB ポート	本製品接続時に１つ必要

※次ページの■注意事項■も参照してください。

■Mac OS 搭載パソコン■

対応機種	Apple iMac、iBook PowerMacintosh G4, G4 Cube, G3 PowerBook G3
対応 OS （日本語版）	Mac OS 8.6、9、9.04 （USB Manager 1.2 以降）
メインメモリ	32M バイト以上（64M バイト以上を推奨）
ハードディスク	30M バイト以上の空き領域が必要
CD-ROM	16 倍速以上で、デジタル抽出可能なドライブ （オーディオキャプチャ対応）
USB ポート	本製品接続時に１つ必要

※下記の■注意事項■も参照してください。

■注意事項（Windows、Mac OS 共通）■

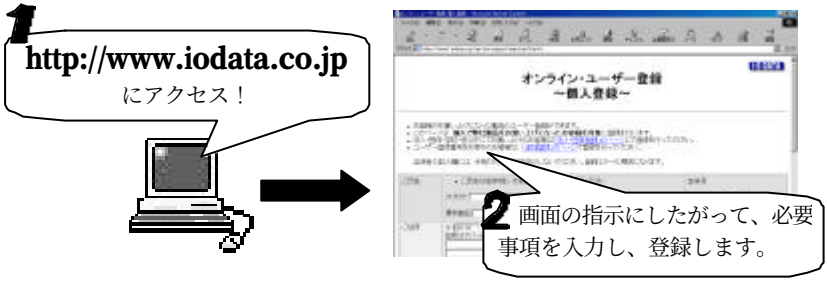
1. スタンバイ、サスペンド、スリープなどのモードには対応しておりません。本製品使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
2. ご利用の環境によっては、USB ハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに直接接続してください。
3. 本製品添付の「MP3 JUKEBOX Windows 版」は Windows 98 専用です。Windows Me、Windows 2000 をお使いの場合は、その OS に対応した MP3 データ変換ソフトを別途ご用意いただくか、MP3 データそのものをご用意ください。
4. カードアダプタなどを利用して、対応 OS 以外の OS からマルチメディアカードにコピーしたファイルは、動作保証外となります。
5. 以下の音楽 CD から MP3 データを作成することは動作保証外です。
   - CD-R または CD-RW で作成した音楽 CD
   - CD EXTRA・ミックス CD のような CD-DA フォーマット以外の音楽 CD
6. MP3 データ作成時にアナログ録音を行うときは、CD/DVD ドライブとサウンドカード間がアナログラインで接続されている必要があります。
7. OS の起動時、再起動時には HyperHyde を接続しないでください。接続は OS が完全に起動してから行ってください。

ユーザー登録をする

弊社製品をお使いになられるときは、お買い上げいただいた製品ごとにユーザー登録を必ず行ってください。登録すると、様々なアフターサービスが受けられます。

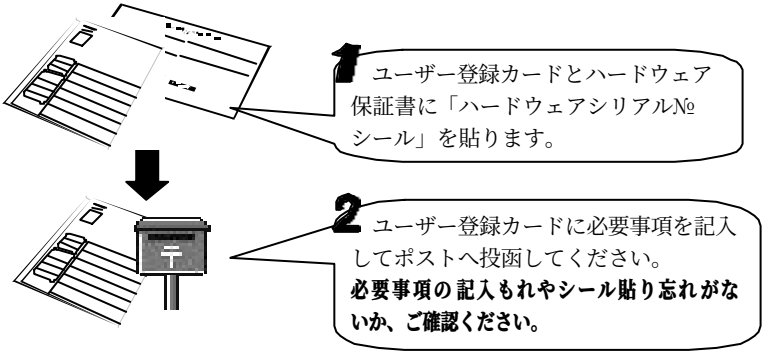
インターネットによる登録

インターネット接続環境があれば、一番簡単で早く登録できます。



登録後、「ハードウェアシリアル№シール」をユーザー登録カードとハードウェア保証書に貼り、ユーザー登録カードには登録番号を記入して、大切に保管してください。

ハガキによる登録



2 音楽を録音しよう（Windows 編）

ここでは Windows をお使いの場合の作業を説明します。Macintosh の場合は 53 ページを参照してください。

音楽を楽しむまでのプロセス

HyperHyde でお好きな音楽を楽しむには、HyperHyde の内蔵メモリやカードに音楽を録音する必要があります。
「録音する」とは「パソコンに保存されている音楽データ（MP3 データ）ファイルを HyperHyde に転送する」という意味です。HyperHyde には音楽１曲が１つのファイルとして保存されます。
録音には、付属の転送ソフト「HyperHyde Manager for USB」を使います。

パソコンに「HyperHyde Manager for USB」を
インストールします。
21 ページ「パソコン側の準備」

この作業は、初めて HyperHyde をお使いになるときだけ、行います。

パソコンと HyperHyde を接続します。
23 ページ「パソコンと HyperHyde を接続する」

パソコンと HyperHyde を接続し、正しく接続されたかどうかの確認を行います。確認方法はご使用の OS によって異なりますので、必要なページを参照してください。

- Windows Me/98 の場合：25 ページ
- Windows 2000 の場合：26 ページ

音楽を楽しむまでのプロセス

HyperHyde で再生できる音楽データ（MP3 データ）
を手に入れます。
28 ページ「MP3 データを用意する」

方法は以下の２つがあります。

- 音楽 CD から変換する
  （本製品添付の「MP3 JUKEBOX」を使用できるのは、Windows 98 をお使いの場合のみです。）
- インターネットサイトからダウンロードする

用意した MP3 データのファイルを
HyperHyde へコピーします。
37 ページ「HyperHyde に録音する」

添付ソフト「HyperHyde Manager for USB」を使って、パソコンに保存されている MP3 データファイルを HyperHyde の内蔵メモリやカードへコピーします。

HyperHyde で音楽を再生します。
第４章「音楽を聴こう」へ進んでください。

注意！

著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、ＭＰ３データを作成することは違法です。
また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオＣＤなどの複製・無料/ 有料を問わずの配布、インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。これらをご理解いただいたうえで、HyperHyde をお使いください。

パソコン側の準備

ここではサポートソフト（HyperHyde Manager for USB）のインストール作業を説明します。インストールは HyperHyde をパソコンに接続する前に行います。

ここではまだHyperHyde をパソコンに接続しないでください。

なお、本書は Windows 98 の画面を使用して説明していますが、特に明記のない限り、Windows Me、Windows 2000 でも操作は同じです。

サポートソフトのインストール前に接続してしまった場合は

「困ったときには」104 ページ「その他のデバイス」として誤認識されているを参照

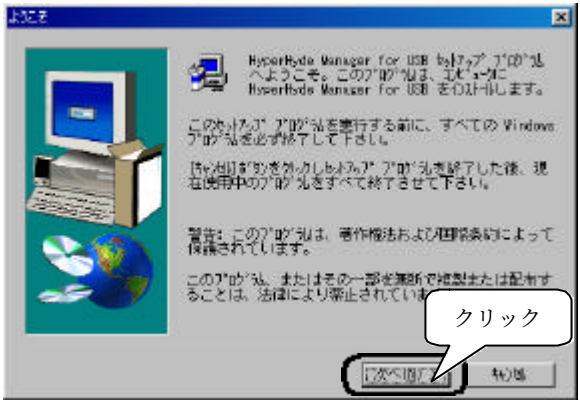
サポートソフトのインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 しばらくすると、下記の画面が表示されるので、[HyperHyde Manager for USB]をクリックします。

下記の画面が表示されない場合は[マイコンピュータ]などで、CD-ROM ドライブを開き、setup.exe をダブルクリックしてください。

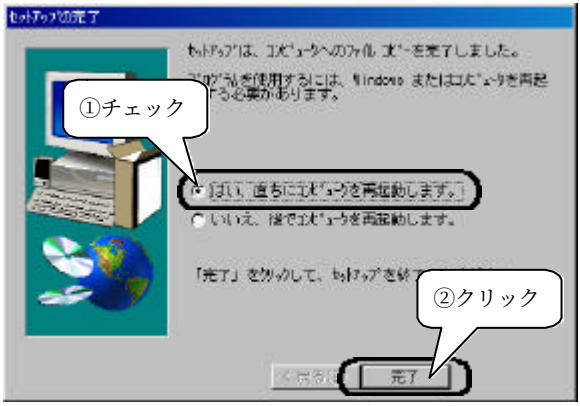
3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 画面の指示にしたがってインストールを進めます。

特に指定のない限り、[次へ]ボタンをクリックすればＯＫです。

5 下記の画面が表示されたら、[はい、直ちにコンピュータを再起動します]をチェックして、[完了]ボタンをクリックします。



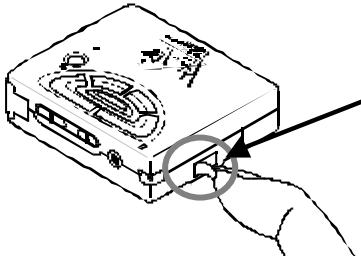
パソコンが再起動したら、インストール完了です。次はパソコンと HyperHyde を接続してみましょう。次ページへ進んでください。

パソコンと HyperHyde を接続する

チェック

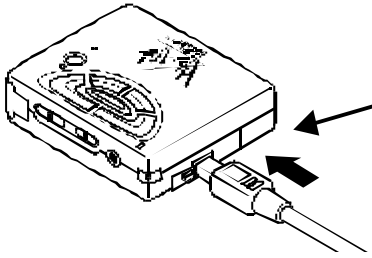
以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde がストップ状態（メインランプ、録音ランプともに消灯状態）であること
- OS が起動していること



1 ラバーカバーを開けます

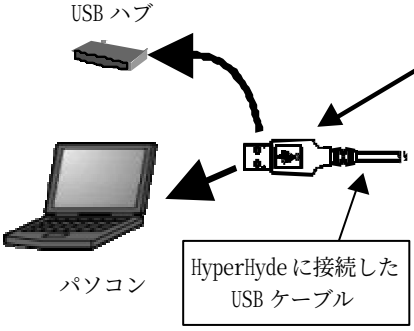
ラバーカバーの突起部分に爪などを引っ掛けて、ラバーカバーを開けます。（他の部分に傷をつけないように注意して行ってください。ラバーカバーは片方が固定されていて取り外せません。）



2 USB ケーブルの、小さい方のコネクタを接続します

USB ケーブルの両端コネクタのうち、小さい方のコネクタを HyperHyde にしっかりと奥まで差し込みます。ラバーカバーがひっかかるようなら、ラバーカバーをもう少し開けてください。

コネクタが入らないときは、無理に差し込もうとせず、コネクタの向きやラバーカバーの開き具合を確認してください。

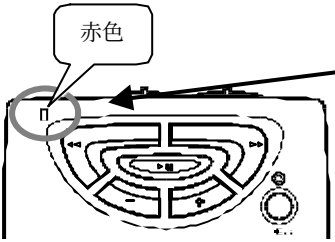


3 パソコンと接続します

USB ケーブルの大きい方のコネクタをパソコンの USB ポート（または USB ハブ）にしっかりと奥まで差し込みます。

パソコン側の USB ポート位置はパソコンの取扱説明書を参照してください。

入りにくいときは、コネクタの向きを確認してください。



4 メインランプの点灯を確認します

点灯しない場合は、USB ケーブルが正しく差し込まれていません。
HyperHyde 側、パソコン側ともに、奥まで差し込まれていることを確認してください。
（電池の残量に関係なく、メインランプは赤色に点灯します。）

初めて HyperHyde をパソコンに接続したときは、HyperHyde が「新しいハードウェア」として認識され、自動的にドライバがインストールされます。

[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示された場合は → 「故障かなと思う前に」103 ページ参照

次に正しく接続されたかどうかの確認を行いますので、ご使用の OS に合わせて、必要なページを参照してください。

- Windows Me/98 をお使いの場合：次ページ
- Windows 2000 をお使いの場合：26 ページ

注意！

HyperHyde を取り外すときは、45 ページ「HyperHyde を取り外す」を参照して、正しい手順で取り外してください。

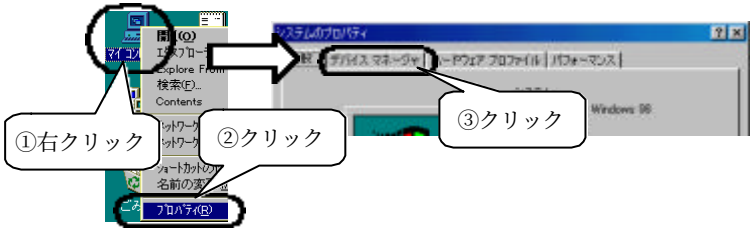
接続後の確認（Windows Me/98 編）

チェック

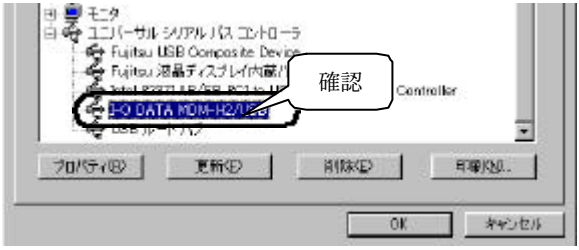
以下の準備ができていることを確認してください。

- パソコンと HyperHyde が USB ケーブルで接続されていること

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選び、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。



2 [ユニバーサル　シリアルバス　コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されていることを確認します。



[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されない
または先頭に！マークが付いている

「故障かなと思う前に」
103 ページ参照

正しく接続できたことが確認できたら、開いている画面を閉じて、28 ページ「MP3 データを用意する」へ進んでください。

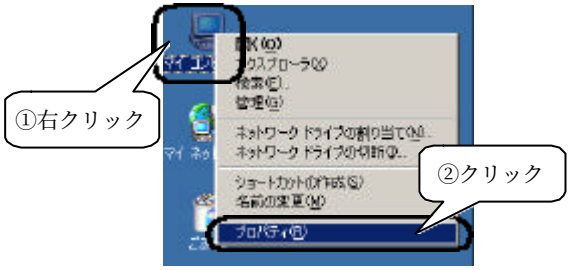
接続後の確認（Windows 2000 編）

チェック

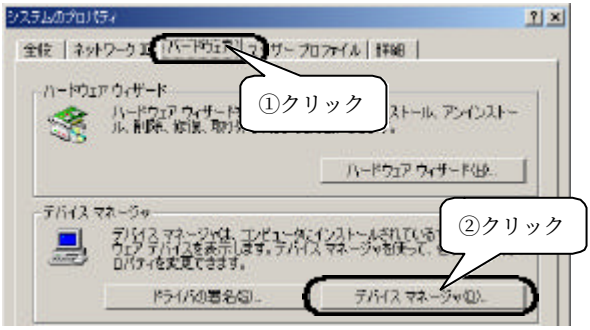
以下の準備ができていることを確認してください。

- パソコンと HyperHyde が USB ケーブルで接続されていること

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選びます。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 [USB (Universal Serial Bus) コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されていることを確認します。

[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されない
または先頭に！マークが付いている

「故障かなと思う前に」
103 ページ参照

4 画面右上の[×]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

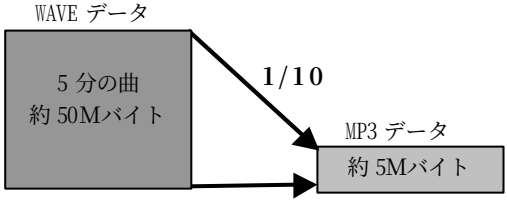
正しく接続できたことが確認できたら、次ページ「MP3 データを用意する」へ進んでください。

MP3 データを用意する

HyperHyde で再生できる音楽データは MP3 データです。ここでは MP3 データの入手方法や音楽 CD を使った作成方法などを説明します。

MP3 データとは？

MP3 とは Mpeg Audio Layer3 の略で、最大の特徴は、CD クオリティの音質を聴感上の劣化もなく、1/10 に圧縮できることです。データサイズがとても小さいので、携帯プレーヤー用の音楽データや電子メールでの添付に適しています。



MP３データの入手方法

MP3 データの入手方法は大きく分けて２つあります。

- インターネットなどから MP3 データそのものを入手する

  インターネットを使えば、合法的な MP3 データの音楽ファイルを無料または有料でダウンロードできたり、MP3 技術についての最新情報を入手することができます。MP3 に関する主なサイトは以下の通りです。（英語サイトとなります）

  http://www.mp3.com、http://www.musicmatch.com、
  http://www.songs.com

- 音楽 CD の曲を MP3 データに変換する

  本製品には、音楽 CD の曲を簡単に MP3 データに変換できる「MP3 JUKEBOX」（Windows 98 のみ対応）が添付されているので、音楽 CD を用意するだけで、MP3 データを作成することができます。

MP3 JUKEBOX について

Windows 98 をお使いの場合は、添付ソフト「MP3 JUKEBOX」を使って、お好きな音楽 CD の曲を MP3 データに変換（エンコード）できます。
ここでは、「MP3 JUKEBOX」のインストールから MP3 データ作成までを説明します。

注意！

1. **本製品添付の「MP3 JUKEBOX」はWindows 98、Mac OS 専用です。Windows Me やWindows 2000 をお使いの場合は、ご使用のＯＳ に対応したMP3 データ変換ソフトを別途ご用意いただくか、MP3 データそのものをご用意ください。**
2. **以下の音楽ＣＤ からMP3 データを作成することは動作保証外です。**
   - **CD-R またはCD-RW で作成した音楽CD**
   - **CD EXTRA・ミックスCD のようなCD-DA フォーマット以外の音楽ＣＤ**
3. **MP3 データ作成時にアナログ録音を行うときは、CD/DVD ドライブとサウンドカード間がアナログラインで接続されている必要があります。**
4. **「MP3 JUKEBOX」は弊社ではサポートしておりません。お問い合わせは下記までおねがいします。**

MP3 JUKEBOX に関するお問い合わせ先

株式会社 住友金属システムソリューションズ
ソフトウェアプロダクト部　SMI Soft サポートセンター
住所　〒108-0073　東京都港区三田 3-11-36 三田日東ダイビル

TEL　03-5476-9825

受付時間：月～金曜日　10：00～12:00　13:00～16:30
（祝祭日、休業日を除く）

FAX　03-5476-9886

URL　http://www.smisoft.ssd.co.jp/supp/index.html

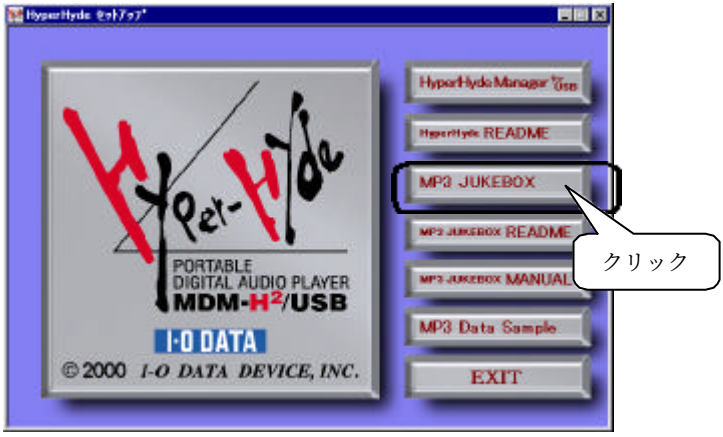
MP3 JUKEBOX のインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

すでにセットされているときは、いったん取り出してから、再セットしてください。

2 インストール画面が表示されたら、「MP3 JUKEBOX」をクリックします。

しばらくしてもインストール画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]で CD-ROM ドライブを開き、[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。



3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

特に必要がない限り、[次へ]ボタンまたは[はい]ボタンをクリックして進めてください。

4 手順 2 の画面に戻ったら、[EXIT]ボタンをクリックします。

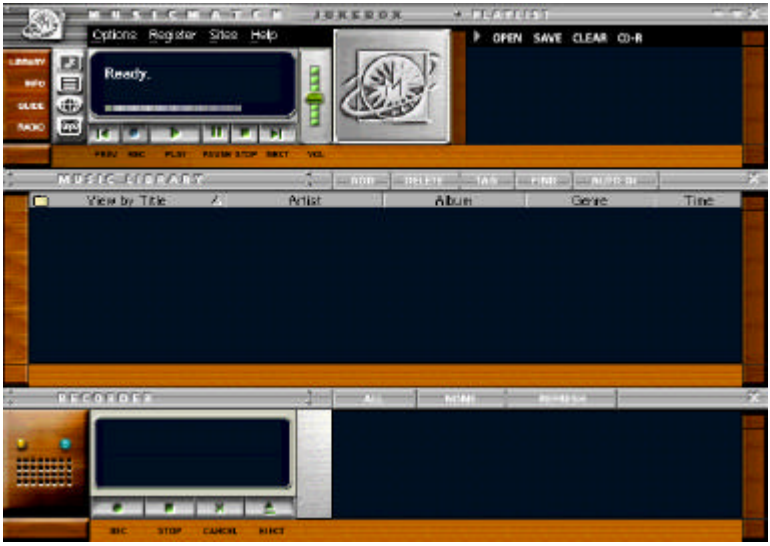
音楽 CD から MP3 データを作る

1

[スタート]→[プログラム]→[MusicMatch]→[MusicMatch JukeBox]を順にクリックします。

2

初期画面が表示されたら、用意した音楽 CD を CD-ROM ドライブにセットします。



3 ダイヤルアップ接続の画面が表示されたら、インターネット経由で CD 情報を取得するかどうかを決めます。

- CD 情報を取得したい場合
  インターネット接続を行うと、ネット上の CD データベースへ接続し、CD 情報（タイトル名・アーティスト名・曲名）を自動取得します。（ご使用の CD タイトルによっては CD 情報を自動取得できない場合もあります）
  自動取得した後は、手動で接続を切断してください。
- CD 情報を取得しない場合
  ダイヤルアップ接続画面で[キャンセル]ボタンをクリックし、次に表示された画面で[ＯＫ]ボタンをクリックします。

ダイヤルアップ接続の画面が表示されない場合は、そのまま次の操作へ進んでください。

＜ダイヤルアップ接続して、CD 情報が取得できた場合＞

＜CD 情報を取得しなかった（できなかった）場合＞

タイトル名、アーティスト名、曲名の部分をクリックし、名称を入力しておくと、音楽データの管理がしやすくなります。

4 MP3 に変換したい曲をクリックして、「REC」ボタンをクリックします。

5 1曲ずつ MP3 変換を開始します。

選択曲数やパソコン環境によっては時間がかかる場合もあります。
そのままお待ちください。

参考

標準設定では、標準モード（CD 並）の音質で変換されますが、高音質モードや低音質モードにも設定できます。方法はオンラインヘルプを参照してください。
なお、この設定により、変換後のMP3 データファイル容量が変わるので、同じ空き容量でも録音できる曲数（＝録音可能時間）が異なります。

内蔵メモリ（32M）の場合の録音可能時間（目安）

モード	音質（ビットレート）	録音可能時間
高音質	128Kbps（CD クオリティ）	約 30 分
標準	96Kbps（CD クオリティ並）	約 44 分
低音質	64Kbps（FM ラジオクオリティ）	約 66 分

6 以下のように表示されたら、変換終了です。

7 一番右上の ボタンをクリックして、『MP3 JUKEBOX』を終了します。

アップグレードを促す画面が表示されたら、必要に応じて[はい]または[いいえ]ボタンをクリックしてください。

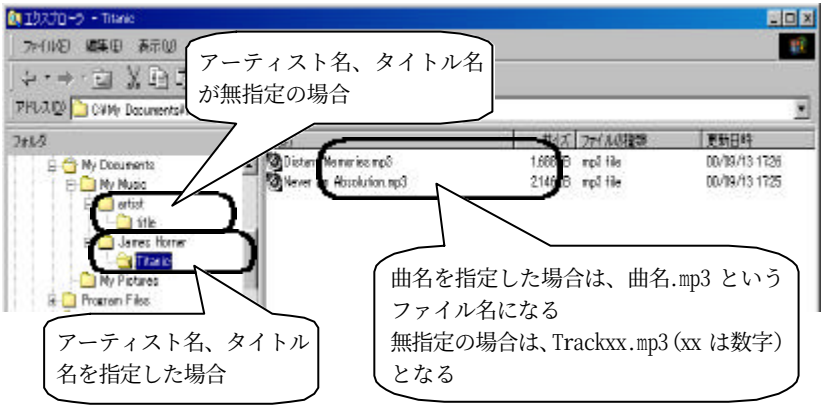
「MP3 JUKEBOX」の詳しい機能や操作は[HELP]ボタンをクリックし、オンラインヘルプを参照してください。

作成した MP3 データファイルを確認する

作成した MP3 データファイルがどのようにハードディスクに保存されているか、確認してみましょう。

■標準設定での保存先フォルダ→C:\My Document\My Music
保存先フォルダの下に、アーティスト名とタイトル名で新しいフォルダが作成され、その中に MP3 データファイルが保存されています。
（アーティスト名、タイトル名が無指定の場合は、artist\title\というフォルダを自動作成する）

■「ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ」で確認した場合の例



注意！

カードアダプタなどを利用し、対応ＯＳ 以外のＯＳから、コピーしたファイルは、動作保証外となります。

曲の長さとファイルサイズの関係

曲の長さと音質モードから、MP3 データ変換後のだいたいのファイルサイズを求めることができます。

MP3 JUKEBOX では音質モードが以下の３通りがあり、モードによりビットレート（１秒分のデータサイズ）が決まっています。そのビットレートに 60 秒をかけた値が、１分間の曲のファイルサイズ（目安）となります。

モード	ビットレート	１分間のファイルサイズ
高音質	128Kbps	960K バイト
標準	96Kbps	720K バイト
低音質	64Kbps	480K バイト

例）標準モードで３分の曲を変換する場合

720K バイト×3 分＝2,160K バイト＝約 2.1M バイト

になります（１M バイト＝1024K バイト）。

同じ３分の曲でも、高音質モードなら約 2.8M バイト、低音質モードであれば、約 1.4M バイトになります。

なお、参考のため、32M バイトある内蔵メモリの録音可能時間を記しておきます。（実際に録音できる領域は 32M バイトではないので、ビットレートにより算出した結果とは異なります。ご了承ください）。

モード	ビットレート	録音可能時間
高音質	128Kbps	約 30 分
標準	96Kbps	約 44 分
低音質	64Kbps	約 66 分

HyperHyde に録音する

MP3 データを HyperHyde へコピーする

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- 「HyperHyde Manager for USB」がインストール済み
- カードへコピーするときは、カードが入っていること

1 HyperHyde をパソコンと接続します。

接続方法は 23 ページを参照してください。メインランプが赤色点灯することを確認します。

2 [スタート]→[プログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde Manager for USB]を順にクリックします。

3 アイコンが緑色に点灯していることを確認します。

電灯アイコンが緑色に点灯していないときは HyperHyde がパソコンと正しく接続されていません。接続を確認してください。

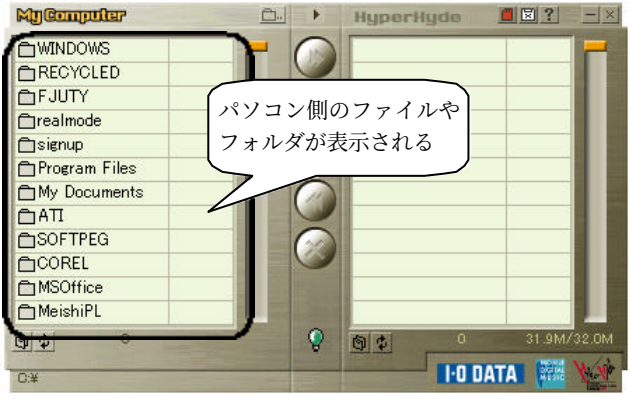
4 カードに録音したいときは、ボタンをクリックして、カードに切り替えます。

ボタンの絵が に、電灯アイコンが赤色に変わります。

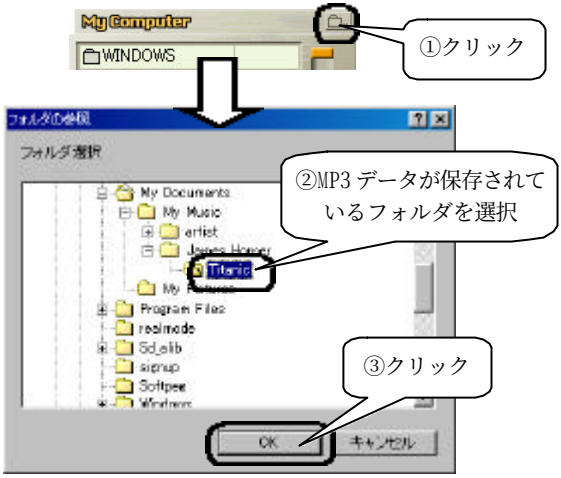
内蔵メモリに切り替えたいときは、 ボタンをクリックします。

5 をクリックします。

左側にパソコンの内容を表示する画面が表示されます。



6 をクリックするか、表示されているフォルダをダブルクリックして、MP3 データが保存されているフォルダを選択します。

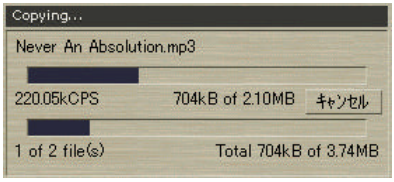


7 このフォルダにある全ファイルをコピーしたい場合はボタンをクリックします。

必要なデータだけをコピーしたい場合は、データをクリックして（[CTRL]キーを押しながらクリックすると複数選択可）、ボタンをクリックします。

8 コピーを開始します。

処理中の画面が消えるまで、そのまましばらくお待ちください。



注意！

処理中の画面が表示されているとき（メインランプ点滅中）は、以下のことは絶対に行わないでください。

- **USB ケーブルを抜くこと。**
- **HyperHyde のボタン操作を行うこと。**

9 コピーした MP3 データが右側の画面に表示されれば、録音完了です。

注意！

1. **著作権の関係上、HyperHyde からパソコンへMP3 ファイルのコピーはできません。パソコン上のファイルは消去しないことをお勧めします。**
2. **カードのデータを削除した後にコピーした場合などは、MP3 データの再生中に、ごくまれに音飛び等が発生する場合があります。同じ個所で音飛びする場合は、43 ページ「全部の曲を消すとき」を実行してから、MP3 データを転送（録音）し直してください。**

録音した曲順を変更するには

曲を再生するときは HyperHyde Manager for USB で表示されている順番になりますが、録音した後でも、曲順を変えることができます。

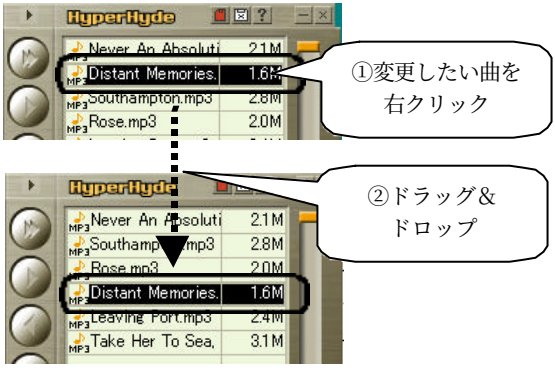
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- パソコンと HyperHyde が USB ケーブルで接続されていること
- カードの曲順を変えたいときは、カードが入っていること
- HyperHyde Manager for USB が起動していること

曲順を変えたい MP3 データを右クリックし、変更したい位置へ、ドラッグ&ドロップします。

カードに録音されている場合は ボタンをクリックして、カードの内容を表示してから、行ってください。



録音した曲を消すには

チェック

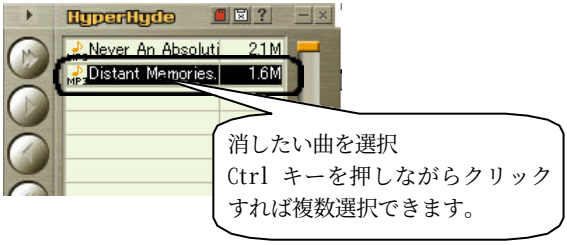
以下の準備ができていることを確認してください。

- パソコンと HyperHyde が USB ケーブルで接続されていること
- カードの曲を消したいときは、カードが入っていること
- HyperHyde Manager for USB が起動していること

■特定の曲だけ消すとき

1 消したい MP3 データをクリックします。

カードに録音されている場合は ボタンをクリックして、カードの内容を表示してから、選択します。



2 ボタンをクリックします。

■全部の曲を消すとき（フォーマット）

内蔵メモリまたはカードのいずれかに保存されている内容をすべて（ボイスメモ含む）消去します。なお、この作業は、HyperHyde をパソコンに接続していないときでも行うことができます。77 ページ「選択したメディアの内容をすべて消すには」を参照してください。

1 内容を消したいメディアを選択します。

- 内蔵メモリの内容を消したい場合

  電灯アイコンが緑色に点灯していることを確認します。
  緑色でない場合は、 ボタンをクリックします。

- カードの内容を消したい場合

  電灯アイコンが赤色に点灯していることを確認します。
  赤色でない場合は、 ボタンをクリックします。

内蔵メモリを消したい場合

カードを消したい場合

2 表示されている内容を確認して、 ボタンをクリックします。

3 ［はい］ボタンをクリックします。

カードを選択したときは、ボリュームラベル設定画面が表示されるので、必要ならばボリュームラベルを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

4 下記の画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

注意！

フォーマット中の画面が表示されているとき（メインランプ点滅中）は、以下のことは絶対に行わないでください。

- **USB ケーブルを抜くこと。**
- **HyperHyde のボタン操作を行うこと。**

HyperHyde に音楽を録音できましたか？　お好きな曲が録音できたら、73 ページ「音楽を聴こう」を参照して、高音質な音楽をお楽しみください。
なお、HyperHyde Manager for USB の詳しい使い方は[ヘルプ]ボタンをクリックして、オンラインヘルプを参照してください。

HyperHyde を取り外す

Windows Me/98 をお使いの場合と、Windows 2000 をお使いの場合では、取り外し方が違います。ご使用の OS によって必要な箇所をお読みください。

Windows Me/98 の場合

1 **HyperHyde のメインランプが点滅していないことを確認してから、パソコン側の USB ポートまたは、USB ハブから USB ケーブルを取り外します。**

USB ケーブルの取り外しは、Windows Me/98 起動中でも可能です。

2 **HyperHyde 側の USB ケーブルを抜き、コネクタのラバーカバーを閉めます。**

Windows 2000 の場合

Windows 2000 起動中に取り外したいときは、以下の手順にしたがってください。
Windows 2000 が終了しているときは、手順 **4** から行ってください。

1 **HyperHyde のメインランプが点滅していないことを確認してから、画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。**

2 **表示された[～を停止します]をクリックします。**

3 しばらくして下記の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

4 パソコン側の USB ポートまたは、USB ハブから USB ケーブルを取り外します。

USB ケーブルの取り外しは、Windows 2000 起動中でも可能です。

5 HyperHyde 側の USB ケーブルを抜き、コネクタのラバーカバーを閉めます。

インストールした情報を削除するには

ご使用の OS および削除したいソフトウェアに合わせて、必要なページを参照してください。

- Windows Me/98 で、サポートソフトを削除したい場合：下記
- Windows 98 で、MP3 JUKEBOX を削除したい場合：次ページ
- Windows 2000 で、サポートソフトを削除したい場合：次ページ

サポートソフトの削除（Windows Me/98 編）

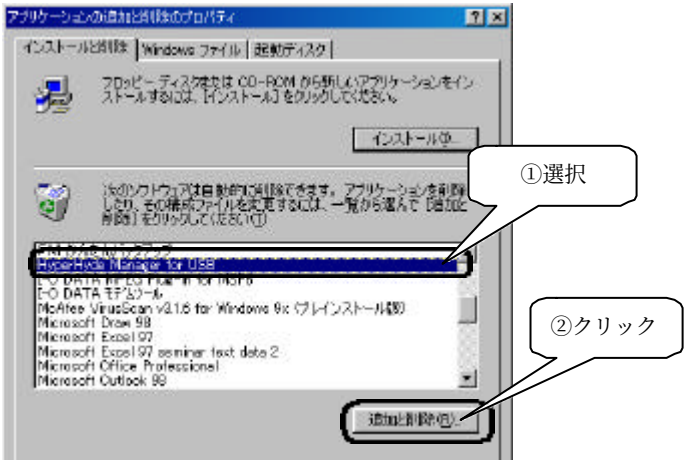
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde がパソコンから取り外されていること
- HyperHyde Manager for USB が終了していること

1 **[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。**

2 **[HyperHyde Manager for USB]を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。**



3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

MP3 JUKEBOX の削除（Windows 98 編）

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- MP3 JUKEBOX が終了していること

削除方法は前ページ「サポートソフトの削除（Windows Me/98 編）」とほぼ同じです。手順 **2** の画面で、「MusicMatch JukeBox」を選択してください。

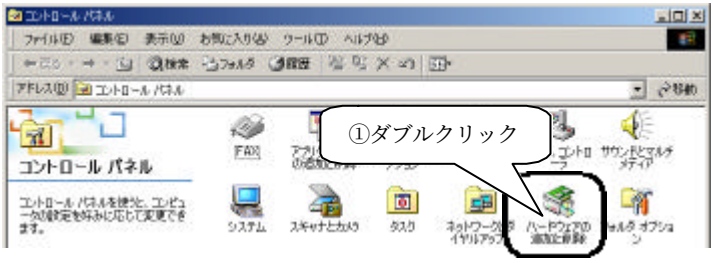
サポートソフトの削除（Windows 2000 編）

チェック

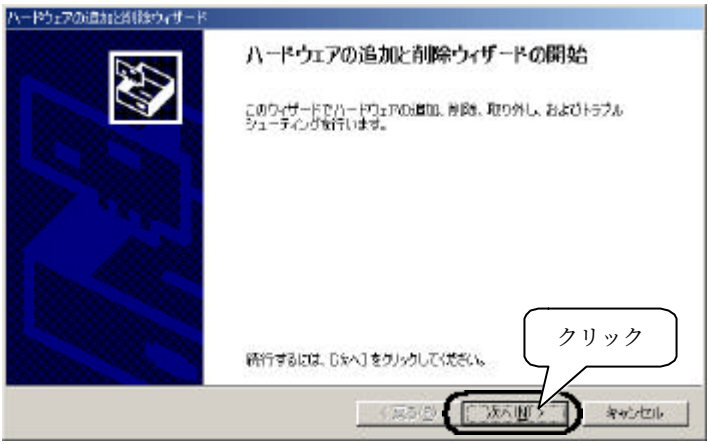
以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde がパソコンに接続してあること
- HyperHyde Manager for USB が終了していること

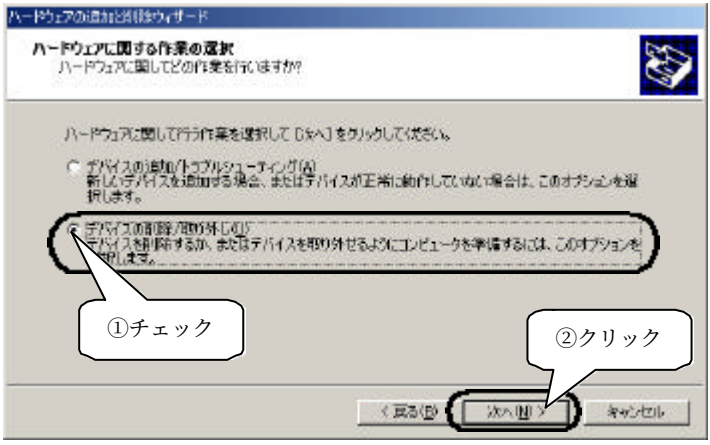
1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックします。



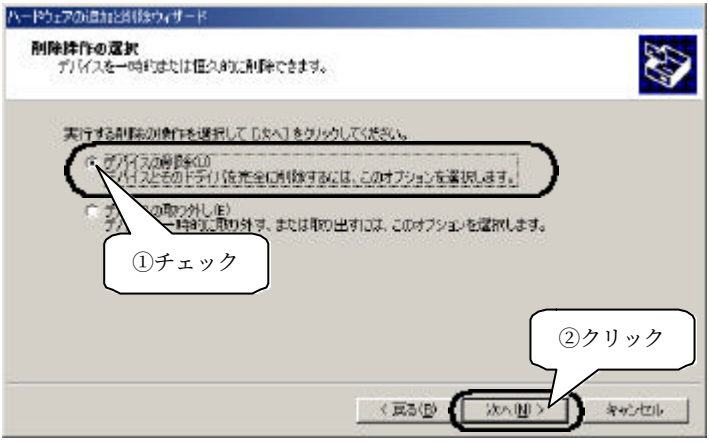
2 [次へ]ボタンをクリックします。



3 [デバイスの削除/取り外し]をチェックして、[OK]ボタンをクリックします。



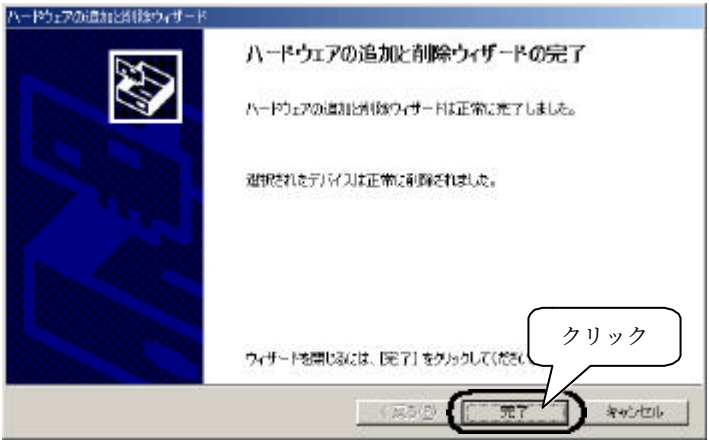
4 [デバイスの削除]をチェックして、[OK]ボタンをクリックします。



5 [I-O DATA MDM-H2/USB]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

6 [はい、このデバイスを削除します]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

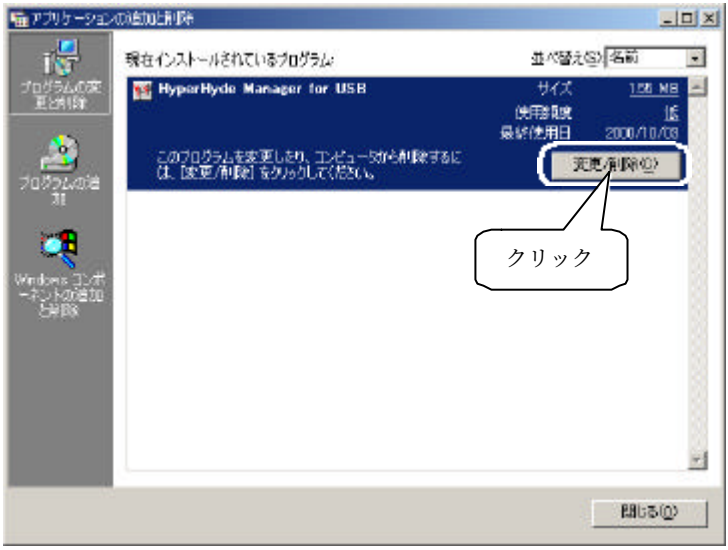
7 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



8 パソコンのUSBポートからHyperHyde のUSBケーブルを抜きます。

9 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

10 [HyperHyde Manager for USB]のところにある[変更/削除]ボタンをクリックします。



11 **画面の指示にしたがって、処理を進めてください。**

アンインストールが終わったら、[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

3 音楽を録音しよう（Macintosh 編）

ここでは Macintosh をお使いの場合の作業を説明します。Windows の場合は 19 ページを参照してください。

音楽を楽しむまでのプロセス

HyperHyde でお好きな音楽を楽しむには、HyperHyde の内蔵メモリやカードに音楽を録音する必要があります。
「録音する」とは「パソコンに保存されている音楽データ（MP3 データ）ファイルを HyperHyde に転送する」という意味です。HyperHyde には音楽１曲が１つのファイルとして保存されます。
録音には、付属の転送ソフト「HyperHyde Manager for USB」を使います。

パソコンに「HyperHyde Manager for USB」をインストールします。
55 ページ「パソコン側の準備」

MacOS のバージョン確認、および、HyperHyde Managerfor USB のインストールを行います。
この作業は、初めて HyperHyde をお使いになるときだけ、行います。

パソコンと HyperHyde を接続します。
58 ページ「パソコンと HyperHyde を接続する」

パソコンと HyperHyde を接続します。

音楽を楽しむまでのプロセス

HyperHyde で再生できる音楽データ（MP3 データ）
を手に入れます。
60 ページ「MP3 データを用意する」

方法は以下の２つがあります。

- 音楽 CD から変換する
  （本製品添付の「MP3 JUKEBOX」を使用します。）
- インターネットサイトからダウンロードする

用意した MP3 データのファイルを
HyperHyde へコピーします。
69 ページ「HyperHyde に録音する」

添付ソフト「HyperHyde Manager for USB」を使って、パソコンに保存されている MP3 データファイルを HyperHyde の内蔵メモリやカードへコピーします。

HyperHyde で音楽を再生します。
第４章「音楽を聴こう」へ進んでください。

注意！

著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、ＭＰ３データを作成することは違法です。
また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオＣＤなどの複製・無料/ 有料を問わずの配布、インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。これらをご理解いただいたうえで、HyperHyde をお使いください。

パソコン側の準備

インストールを行う前に、お使いの Mac OS のバージョンを確認してください。

バージョンの確認

1 ［Apple システム・プロフィール］を選択します。

［Apple］メニューをクリックします。開いたメニューの中に表示された［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

2 Mac OS のバージョンを確認します。

表示されたバージョンが…

8.6 未満の場合は…	Mac OS を 8.6以降にバージョンアップしてから、次ページ「サポートソフトのインストール」へ進んでください。
8.6 以降の場合は…	これ以上の作業は必要ありません。次ページ「サポートソフトのインストール」へ進んでください。

サポートソフトのインストール

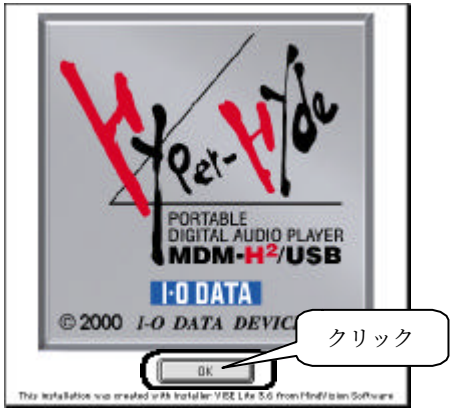
ここではサポートソフト（HyperHyde Manager for USB）のインストール作業を説明します。これらの作業はHyperHydeをパソコンに接続する前に行います。

ここではまだHyperHyde をパソコンに接続しないでください。

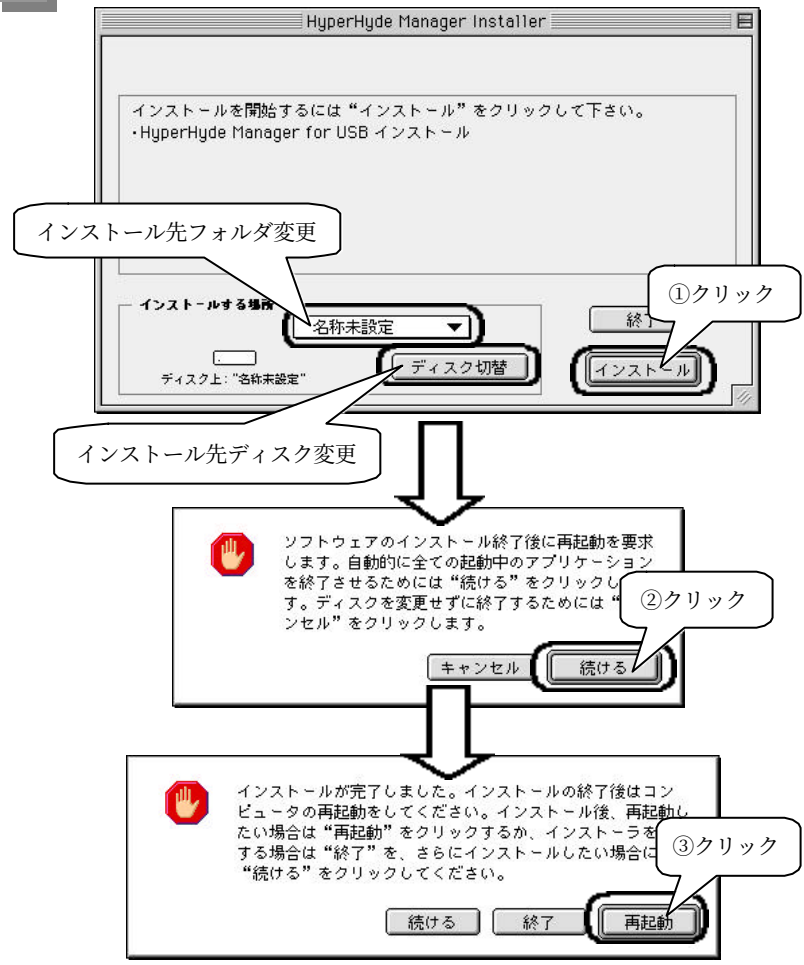
1 「サポートソフト」ディスクをCD-ROMドライブにセットします。

2 マウントされたCD-ROMアイコンを開き、[HyperHyde Manager Installer]をダブルクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。



4 画面の指示にしたがってインストールを進めます。



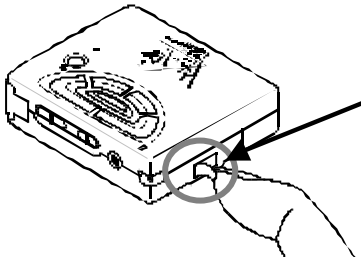
パソコンが再起動したら、インストール完了です。
次はパソコンと HyperHyde を接続してみましょう。次ページへ進んでください。

パソコンと HyperHyde を接続する

チェック

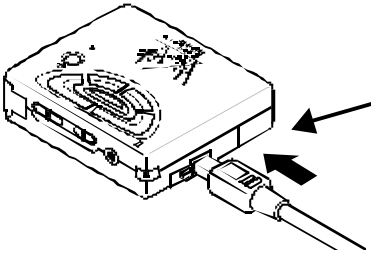
以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde がストップ状態（メインランプ、録音ランプともに消灯状態）であること
- OS が起動していること



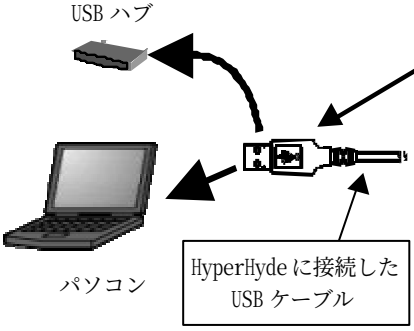
1 ラバーカバーを開けます

ラバーカバーの突起部分に爪などを引っ掛けて、ラバーカバーを開けます。（他の部分に傷をつけないように注意して行ってください。ラバーカバーは片方が固定されていて取り外せません。）



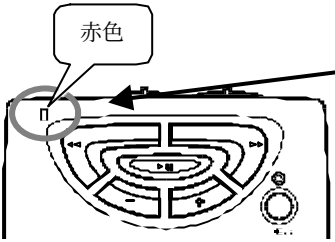
2 USB ケーブルの、小さい方のコネクタを接続します

USB ケーブルの両端コネクタのうち、小さい方のコネクタを HyperHyde にしっかりと奥まで差し込みます。ラバーカバーがひっかかるようなら、ラバーカバーをもう少し開けてください。
コネクタが入らないときは、無理に差し込もうとせず、コネクタの向きやラバーカバーの開き具合を確認してください。



3 パソコンと接続します

USB ケーブルの大きい方のコネクタをパソコンの USB ポート（または USB ハブ）にしっかりと奥まで差し込みます。
パソコン側の USB ポート位置はパソコンの取扱説明書を参照してください。
入りにくいときは、コネクタの向きを確認してください。



4 メインランプの点灯を確認します

点灯しない場合は、USB ケーブルが正しく差し込まれていません。
HyperHyde 側、パソコン側ともに、奥まで差し込まれていることを確認してください。
（電池の残量に関係なく、メインランプは赤色に点灯します。）

HyperHyde 接続後
[USB 装置"名称未設定装置"……]
と表示された場合は

「故障かなと思う前に」
105 ページ参照

注意！

HyperHyde を取り外すときは、次の手順で取り外してください。

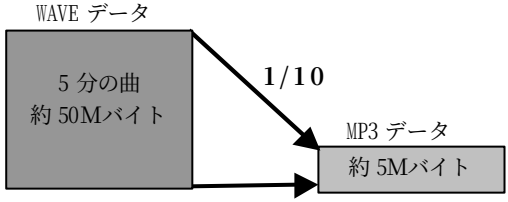
1. **HyperHyde のメインランプが点滅していないことを確認します。**
2. **パソコン側のUSB ポートからUSB ケーブルを外します。**
3. **HyperHyde側のUSB コネクタを外し、ラバーカバーを閉めます。**

MP3 データを用意する

HyperHyde で再生できる音楽データは MP3 データです。ここでは MP3 データの入手方法や音楽 CD を使った作成方法などを説明します。

MP3 データとは？

MP3 とは Mpeg Audio Layer3 の略で、最大の特徴は、CD クオリティの音質を聴感上の劣化もなく、1/10 に圧縮できることです。データサイズがとても小さいので、携帯プレーヤー用の音楽データや電子メールでの添付に適しています。



MP３データの入手方法

MP3 データの入手方法は大きく分けて２つあります。

- インターネットなどから MP3 データそのものを入手する

  インターネットを使えば、合法的な MP3 データの音楽ファイルを無料または有料でダウンロードできたり、MP3 技術についての最新情報を入手することができます。MP3 に関する主なサイトは以下の通りです。

  http://www.mp3.com、http://www.musicmatch.com、
  http://www.songs.com

- 音楽 CD の曲を MP3 データに変換する

  本製品には、音楽 CD の曲を簡単に MP3 データに変換できる「MP3 JUKEBOX」が添付されているので、音楽 CD を用意するだけで、MP3 データを作成することができます。

MP3 JUKEBOX について

お好きな音楽 CD の曲を MP3 データに変換（エンコード）するには、本製品添付の「MP3 JUKEBOX」を使います。
ここでは、「MP3 JUKEBOX」のインストールから MP3 データ作成までを説明します。

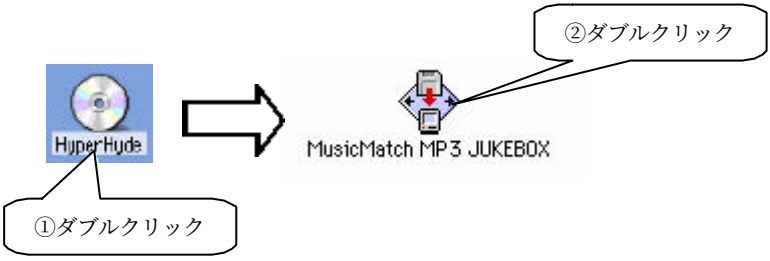
注意！

1 以下の音楽CD からMP3 データを作成することは動作保証外です。
・CD-R またはCD-RW で作成した音楽CD
・CD EXTRA・ミックスCD のようなCD-DA フォーマット以外の音楽CD
2 MP3 データ作成時にアナログ録音を行うときは、CD/DVD ドライブとサウンドカード間がアナログラインで接続されている必要があります。
3 「MP3 JUKEBOX」は弊社ではサポートしておりません。お問い合わせは3 ページ「MP 3 JUKEBOX について」を参照してください。

MP3 JUKEBOX のインストール

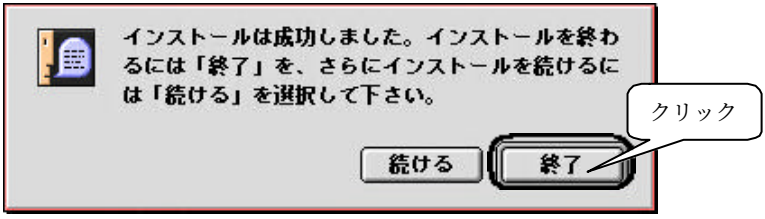
1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 マウントされた CD-ROM アイコンを開き、[MusicMatch MP3 JUKEBOX]をダブルクリックします。



3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

4 下記の画面が表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

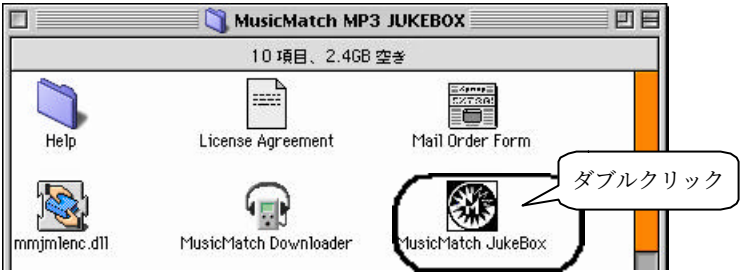


次は MP3 JUKEBOX を起動して、音楽 CD から MP3 データを作ってみましょう。

音楽 CD から MP3 データを作る

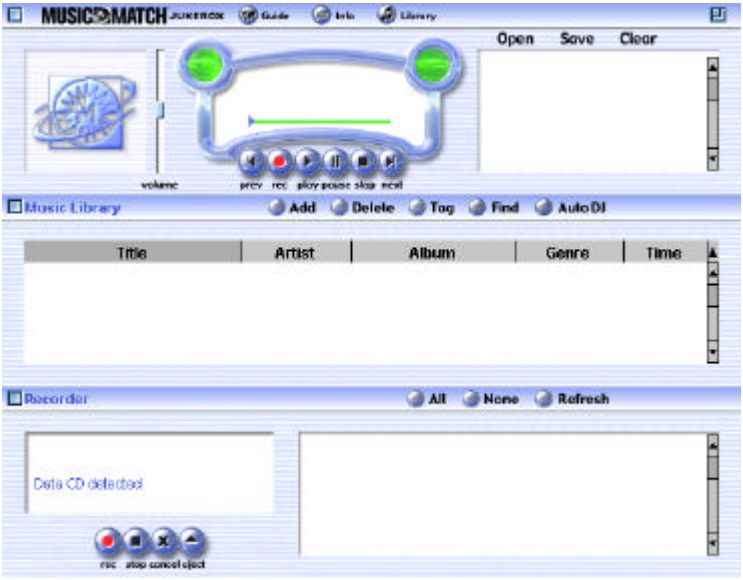
1

[MusicMatch MP3 JUKEBOX]フォルダを開き、
[MusicMatch JukeBox]アイコンをダブルクリックします。



2

初期画面が表示されたら、用意した音楽 CD を
CD-ROM ドライブにセットします。



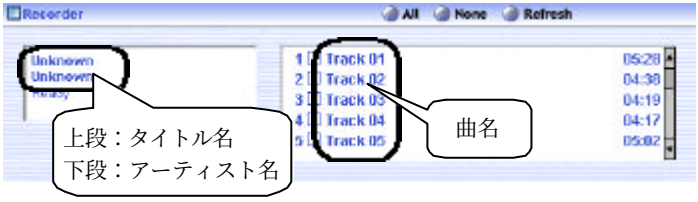
3 インターネット接続の画面が表示されたら、インターネット経由で CD 情報を取得するかどうかを決めます。

- CD 情報を取得したい場合
  インターネット接続を行うと、ネット上の CD データベースへ接続し、CD 情報（タイトル名・アーティスト名・曲名）を自動取得します。（ご使用の CD タイトルによっては CD 情報を自動取得できない場合もあります）
  自動取得した後は、手動で接続を切断してください。
- CD 情報を取得しない場合
  接続を中止し、[CDDB サービスを接続しない]をチェックして、[ＯＫ]ボタンをクリックします。

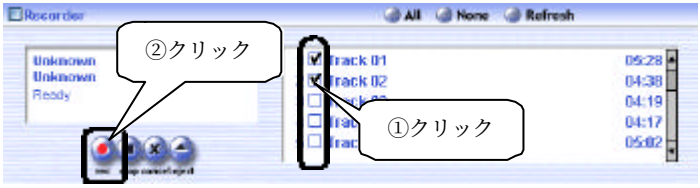
インターネット接続の画面が表示されない場合は、そのまま次の操作へ進んでください。

参考

<CD 情報を取得しなかった（できなかった）場合>
タイトル名、アーティスト名、曲名の部分をクリックし、名称を入力しておくと、音楽データの管理がしやすくなります。

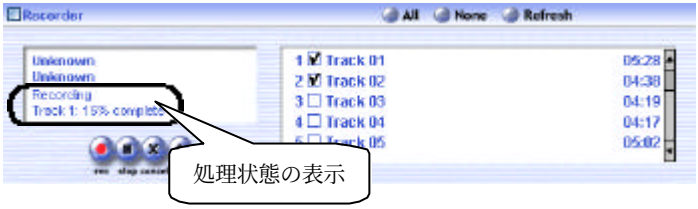


4 MP3 に変換したい曲をクリックして、ボタンをクリックします。



5 1曲ずつ MP3 変換を開始します。

選択曲数やパソコン環境によっては時間がかかる場合もあります。
そのままお待ちください。



参考

標準設定では、標準モード（CD 並）の音質で変換されますが、高音質モードや低音質モードにも設定できます。方法はオンラインヘルプを参照してください。
なお、この設定により、変換後のMP3 データファイル容量が変わるので、同じ空き容量でも録音できる曲数（＝録音可能時間）が異なります。

内蔵メモリ（32M）の場合の録音可能時間（目安）

モード	音質（ビットレート）	録音可能時間
高音質	128Kbps（CD クオリティ）	約 30 分
標準	96Kbps（CD クオリティ並）	約 44 分
低音質	64Kbps（FM ラジオクオリティ）	約 66 分

6 以下のように表示されたら、変換終了です。

7 一番左上の□ボタンをクリックして、『MP3 JUKEBOX』を終了します。

アップグレードを促す画面が表示されたら、必要に応じて[はい]または[いいえ]ボタンをクリックしてください。

「MP3 JUKEBOX」の詳しい機能や操作はヘルプメニューを参照してください。

作成した MP3 データファイルを確認する

作成したMP3データファイルがどのようにハードディスクに保存されているか、確認してみましょう。

■標準設定での保存先フォルダ

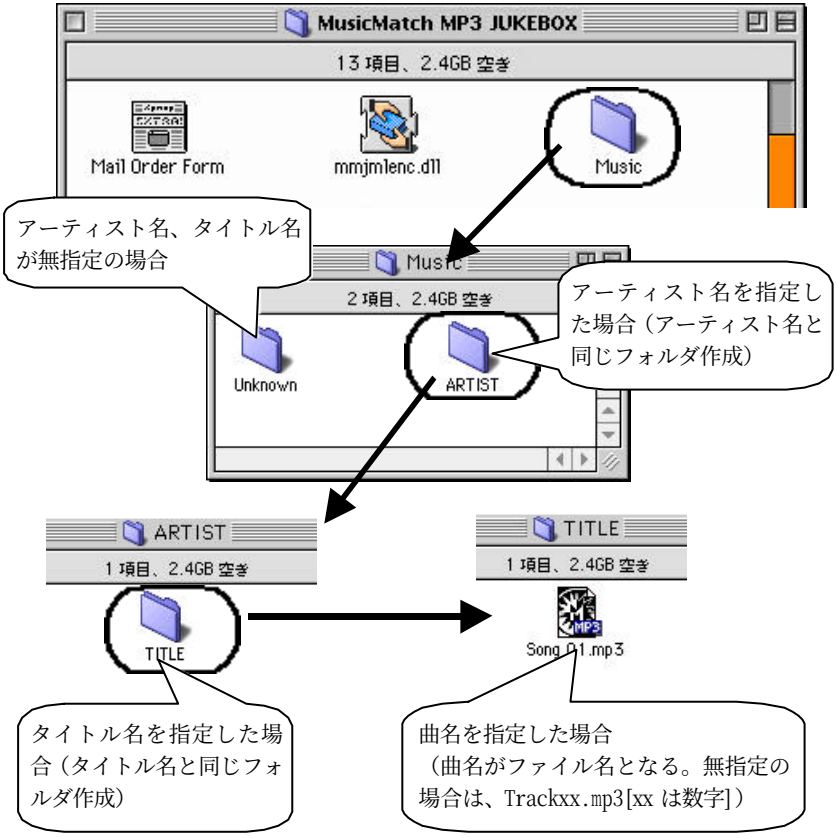
：MusicMatch MP3 JUKEBOX/Music フォルダ

保存先フォルダの下に、アーティスト名とタイトル名で新しいフォルダが作成され、その中にMP3データファイルが保存されています。

（アーティスト名、タイトル名が無指定の場合は、unknown フォルダの下に unknown というフォルダを自動作成する）

※次ページに保存例があります。

■保存例



注意！

カードアダプタなどを利用し、対応ＯＳ 以外のＯＳから、コピーしたファイルは、動作保証外となります。

曲の長さとファイルサイズの関係

曲の長さと音質モードから、MP3 データ変換後のだいたいのファイルサイズを求めることができます。

MP3 JUKEBOX では音質モードが以下の３通りがあり、モードによりビットレート（１秒分のデータサイズ）が決まっています。そのビットレートに 60 秒をかけた値が、１分間の曲のファイルサイズとなります。

モード	ビットレート	１分間のファイルサイズ
高音質	128Kbps	960K バイト
標準	96Kbps	720K バイト
低音質	64Kbps	480K バイト

例）標準モードで３分の曲を変換する場合

720K バイト×3 分＝2,160K バイト＝約 2.1M バイト

になります（１M バイト＝1024K バイト）。

同じ３分の曲でも、高音質モードなら約 2.8M バイト、低音質モードであれば、約 1.4M バイトになります。

なお、参考のため、32M バイトある内蔵メモリの録音可能時間を記しておきます。（実際に録音できる領域は 32M バイトではないので、ビットレートにより算出した結果とは異なります。ご了承ください）。

モード	ビットレート	録音可能時間
高音質	128Kbps	約 30 分
標準	96Kbps	約 44 分
低音質	64Kbps	約 66 分

HyperHyde に録音する

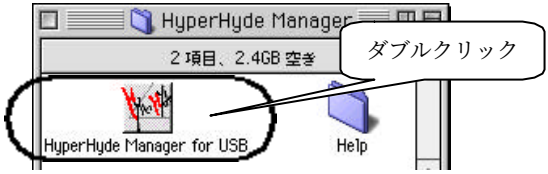
MP3 データを HyperHyde へコピーする

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- 「HyperHyde Manager for USB」がインストール済み
- カードへコピーするときは、カードが入っていること

1 [HyperHyde Manager]フォルダを開き、[HyperHyde Manager for USB]をダブルクリックします。



この後の使い方は Windows 版とほぼ同じです。37 ページ「MP3 データを HyperHyde へコピーする」を参照してください。
ここでは、相違点だけを記しますので、参考にしてください。

- パソコン側のフォルダを指定するとき

  39 ページ「手順 6」：Macintosh 標準のフォルダ指定画面が表示されるので、MP3 データが保存されているフォルダを指定してください。

- 録音した曲順を変更するとき

  41 ページ「手順 1」：変更したい曲をドラッグ＆ドロップするだけで曲順が変更できます。

2 録音が終わったら、HyperHyde のメインランプが点滅していないことを確認して、パソコン側の USB ポート（または USB ハブ）から USB ケーブルを取り外します。

USB ケーブルの取り外しは、パソコンが起動中でも可能です。

3 HyperHyde 側の USB コネクタを抜き、コネクタのラバーカバーを閉めます。

インストールした情報を削除するには

サポートソフトの削除

チェック

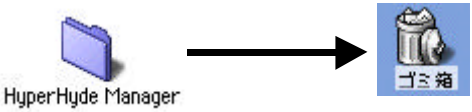
以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde がパソコンから取り外されていること
- HyperHyde Manager for USB が終了していること

1 [システムフォルダ]の中の[機能拡張フォルダ]を開きます。

2 3つのファイルをゴミ箱へドラッグ&ドロップします。
[MDMH2USBDriver],[MDMH2USBShim],
[MDMH2USBUTDriver]

3 [HyperHyde Manager]フォルダをゴミ箱へドラッグ&ドロップします。



4 パソコンを再起動します。
パソコンが起動したら、ゴミ箱を空にします。

MP3 JUKEBOX の削除

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- MP3 JUKEBOX が終了していること

1 必要ならば、作成した MP3 データをバックアップします。

標準設定ならば、[MusicMatch MP3 JUKEBOX]フォルダの中にある[Music]フォルダ中に MP3 データが入っています。

2 [MusicMatch MP3 JUKEBOX]フォルダをゴミ箱へドラッグ&ドロップします。

MEMO

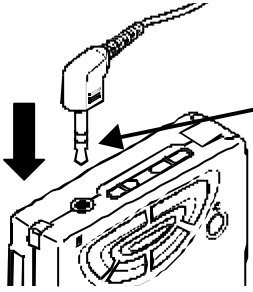
4 音楽を聴こう

HyperHyde で音楽を聴く

チェック

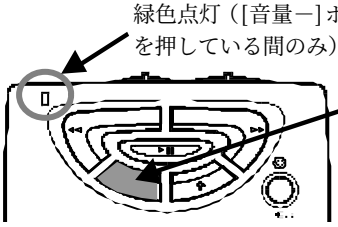
以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde に、単４アルカリ乾電池が入っていること
- USB ケーブルが取り外されていること
- カードの曲を再生したい場合は、カードが入っていること



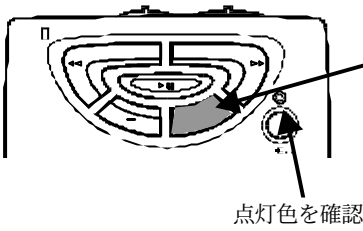
1 イヤホンを付ける

HyperHyde のイヤホンジャックに差し込みます。イヤホンの左右を確認し、耳に付けてください。



2 [音量－]ボタンを押して、メインランプを緑色にする

メインランプが緑色に点灯するように、[音量－]ボタンを何回か押します（音楽モード）。（メインランプの点灯は[音量－]ボタンを離すと消えます）

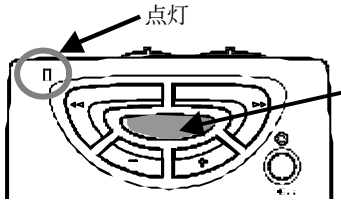


3 [音量＋]ボタンを押して、再生したいメディアを選ぶ

- **緑色点灯：内蔵メモリを選択**
- **赤色点灯：カードを選択**

再生したいメディアが選択されるまで、[音量＋]ボタンを何回か押してください。（ボタンを離すと点灯色も消えます）

カードが入っていない場合は、カードを選択しても、内蔵メモリの曲が再生されます。



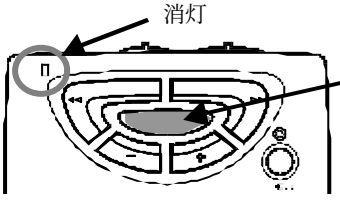
4 [再生]ボタンを押す

１曲目の音楽から再生を開始します。
[再生]ボタンを押してもメインランプが点灯しない場合は１曲も録音されていないか、電池が切れているときです。確認してください。

メインランプの点灯色を見て、電池の残量を確認してください。

- **緑色　：1/3 以上残っています。**
- **赤色　：残り1/3 未満です。そろそろ取り替えてください。**

新しい電池の場合は約６時間の連続再生が可能です。



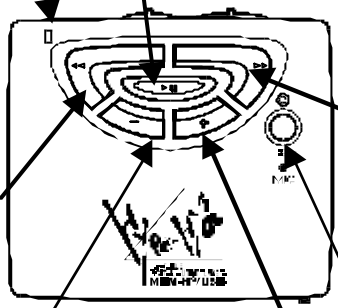
5 再生を止めるには、[再生]ボタンを長押しする

再生を止めるには[再生]ボタンを１秒以上長く押します（メインランプ消灯）。

[再生] ボタンを短く押したときは一時停止になります（メインランプ点滅）。一時停止状態で、[再生]ボタンを押すと、停止した個所から再生を開始します。

音楽再生中の操作

音楽は選択したメディアの１曲目から始まり、すべての曲を再生するとオートリピートして、最初の曲へ戻ります。
カードが入っているときで、内蔵メモリが選択したときは、内蔵メモリの再生→カードの再生→内蔵メモリの再生という順番で繰り返します。カードが選択されているときは、カードの再生から始まり、内蔵メモリへと繰り返します。



■メインランプ

ストップ状態：消灯。
再生中　　：点灯。
一時停止中　：点滅。
（色は電池残量によって変化する）。

■再生ボタン

長押しで停止（メインランプ消灯）。
短押しで一時停止（メインランプ点滅、再度[再生]ボタンを押すと再生開始）。

■曲送りボタン/早送りボタン

次の曲を再生。押し続けると、同一曲内の早送り。

■曲戻しボタン

再生中の曲の先頭から再生。
２回続けて押すと、前の曲の先頭からを再生。
内蔵メモリの曲を再生中は、押し続けると同一曲内の早戻し。

■録音ボタン

停止後、押すと、再生時は１曲目から再生。

■音量＋ボタン

音量を上げる。押し続けると上がり続ける。

■音量－ボタン

音量を下げる。
押し続けると下がり続ける。

再生中は絶対にカードを抜かないでください。カードを抜くときは、必ず［再生］ボタンを長押ししてメインランプが消灯していることを確認してください。

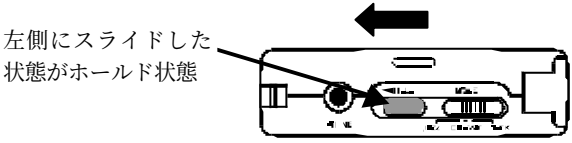
レジューム機能について

[再生]ボタンを長押しして停止しても、再度[再生]ボタンを押したときには、停止した位置から自動的に再生します（レジューム機能）。
ただし、以下の操作を行った場合は、レジューム機能がキャンセルされます。

- [音量－]を押し、音楽モードとボイスメモモードの切り替えたとき。
- [音量＋]を押し、メディア選択を行ったとき。
- [録音]ボタンを押したとき。
- パソコンと接続したとき。
- 電池を入れ替えたとき。
- カードを再生中に[再生]ボタンを長押しした場合は、そのカードを入れ替えたとき。

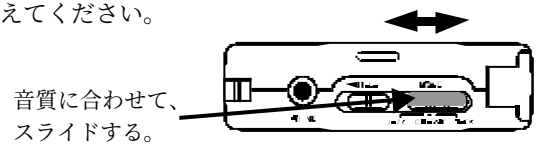
誤操作を防ぐには（ボタンロック）

HyperHyde をポケットなどに入れておくと、どこかのボタンが接触して誤操作を招く場合があります。 [ホールド]ボタンをホールド位置にしておけば、一切のボタン操作を無効にする（ロックする）ことができます。



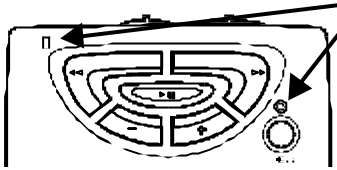
音質を変えるには

HyperHyde には３つの音質モード（ROCK、CLASSIC、JAZZ）があります。再生する曲に合わせて切り替えてください。



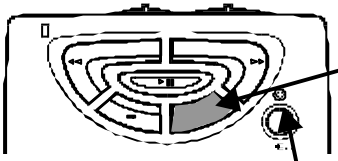
選択したメディアの内容をすべて消すには

1 ストップ状態を確認する



メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

2 [音量＋]ボタンを押して、消したいメディアを選ぶ

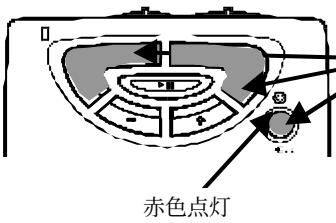


点灯色を確認

- **緑色点灯：内蔵メモリを選択**
- **赤色点灯：カードを選択**

消したいメディアが選択されるまで、[音量＋]ボタンを何回か押してください。（ボタンを離すと点灯色も消えます）

3 [曲送り]ボタンと[曲戻し]ボタンと[録音]ボタンを同時に押す



赤色点灯

3つのボタンを同時に押してください。
選択したメディアに録音されている全データ（音楽・ボイスメモ含む）が1度に消去されます。消去開始後、録音ランプが赤色点滅します。消去が終了すると、消灯します。

選択したメディアの内容がすべて消えます。選択するメディアを間違えないように注意してください。

MEMO

5 ボイスメモしよう

HyperHyde のボイスメモは手軽に音声を録音できる機能です。
例えば、

- ミーティングの内容をメモのために録音し、資料整理に使う
- ふと思い浮かんだメロディーをその場で録音し、作曲に使う
- 家族への伝言を録音して、留守のときに聞いてもらう
- HyperHyde を持っている友達同士、音声の交換日記をする

など、いろいろな使い方が楽しめます。
ボイスメモの録音や再生には特にパソコンは必要ありませんが、録音したボイスメモは音声ファイル（WAVE ファイル）としてパソコンで手軽に扱える形式になるので、パソコン上での再生や電子メールへの添付もできます。
コンパクトボディの HyperHyde ならではの使い方を見つけてください。

注意！

1. **パラレル接続の HyperHyde（MDM-H2、MDM-H2STD）で録音したボイスメモとは、互換性がありません。**
2. **すでに音楽を録音してあるメディアには、正常にボイスメモが録音されない場合があります。すでに音楽が録音されている場合は、77 ページ「選択したメディアの内容をすべて消すには」を参照して、メディアの内容を消してから、ボイスメモを録音してください。**
3. **内蔵メモリとカードに連続してボイスメモを録音することはできません。内蔵メモリに録音しているときは、内蔵メモリの空き容量がなくなった時点で（カードに空き容量があっても）、録音は終了します。カードに録音している場合も同様です。**

ボイスメモを録音する

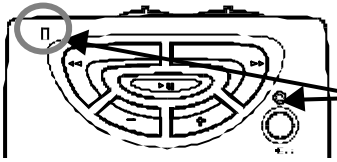
参考

ボイスメモは約10 分の録音で約2M バイト弱の容量を使用します。32M バイトの空き容量があれば、約2時間（16M バイトならその半分）の録音ができます。

チェック

以下の準備ができていることを、確認してください。

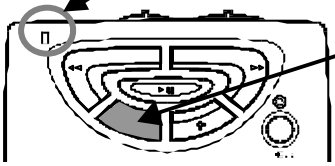
- HyperHyde に、単４アルカリ乾電池が入っていること
- 録音するメディアに音楽が入っていないこと
- カードに録音する場合は、カードが入っていること



1 ストップ状態を確認する

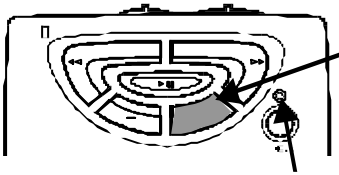
メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

赤色点灯（[音量－]ボタンを押している間のみ）



2 [音量－]ボタンを押してメインランプを赤色にする

メインランプが赤色に点灯するように、[音量－]ボタンを何回か押します（ボイスメモモード）。（メインランプの点灯は[音量－]ボタンを離すと消えます）



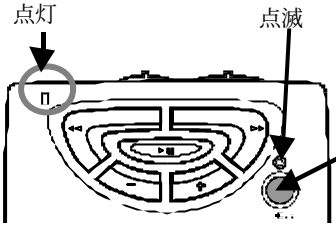
点灯色を確認

3 [音量＋]ボタンを押して、録音したいメディアを選ぶ

- **緑色点灯：内蔵メモリを選択**
- **赤色点灯：カードを選択**

録音したいメディアが選択されるまで、[音量＋]ボタンを何回か押してください。（ボタンを離すと点灯色も消えます）

カードが入っていない場合は、カードを選択しても録音されません。



4 [録音]ボタンを押し、録音ランプが点滅したら、録音開始

約２秒後に録音ランプが点滅したら、（同時にメインランプも点灯）録音開始です。

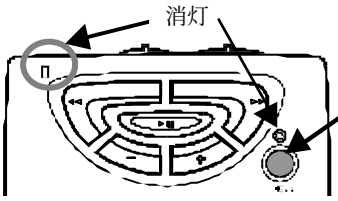
メインランプの点灯色は電池の残量を、録音ランプの点滅色は空き容量を示します。

メインランプの点灯色

- **緑色　　:電池は1/3 以上残っています。**
- **赤色　　:残り1/3 未満になりました。そろそろ取り替えてください。**

録音ランプの点滅色

- **緑色　　:空き容量は1/3 以上あります。**
- **赤色　　:空き容量が1/3 未満になりました。**



5 録音を止めるには、もう１度、[録音]ボタンを押す

メインランプと録音ランプが消灯したら、録音終了です。録音開始から終了までの音声が、１つのWAVEファイルとして保存されます。

[録音] ボタンではなく、[再生] ボタンを長押すると、今までの録音をキャンセルし、保存しません。

録音中は絶対にカードを抜かないでください。カードを抜くときは、必ず[録音] ボタンを押してメインランプが消灯していることを確認してください。

注意！

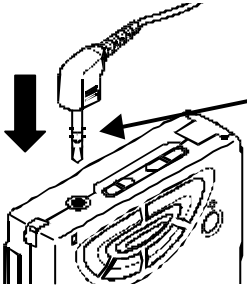
マイクの特性上、録音したデータには若干のノイズが録音されます。これは製品仕様となりますのであらかじめご了承ください。

ボイスメモを聞く

チェック

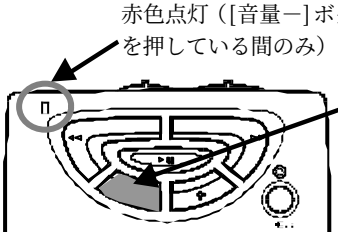
以下の準備ができていることを、確認してください。

- HyperHyde に、単４アルカリ乾電池が入っていること
- 内蔵メモリまたはカードにボイスメモが録音済みであること



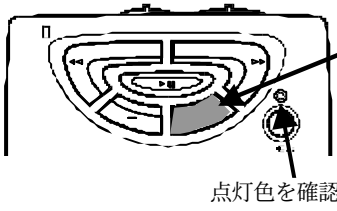
1 イヤホンを付けます

HyperHyde のイヤホンジャックにイヤホンを差し込みます。
イヤホンの左右を確認し、耳に付けてください。



2 [音量－]ボタンを押してメインランプを赤色にする

メインランプが、赤色に点灯するように、[音量－]ボタンを何回か押します（ボイスメモモード。メインランプの赤色点灯は [音量－] ボタンを離すと消えます）

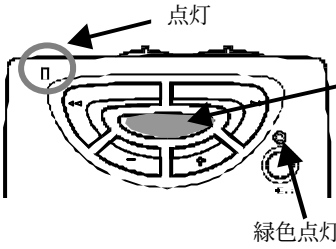


3 [音量＋]ボタンを押して、再生したいメディアを選ぶ

- **緑色点灯：内蔵メモリを選択**
- **赤色点灯：カードを選択**

再生したいメディアが選択されるまで、[音量＋] ボタンを何回か押してください。（ボタンを離すと点灯色も消えます）

カードが入っていない場合は、カードを選択しても、内蔵メモリのボイスメモが再生されます。



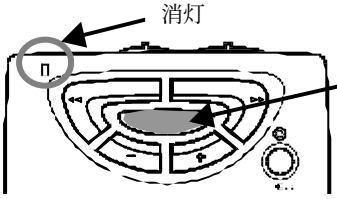
4 [再生]ボタンを押す

[再生]ボタンを押すと、録音直後の場合のみ、最後に録音されたボイスメモから再生され、引き続き、最初に録音されたメモから順に再生されます。

メインランプの点灯色を見て、電池の残量を確認してください。

- **緑色点灯　：1/3 以上残っています。**
- **赤色点灯　：残り1/3 未満になりました。**
  そろそろ取り替えてください。

新しい電池の場合は約6時間の連続再生が可能です。

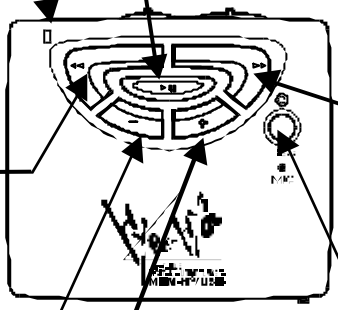


5 再生を止めるには、[再生]ボタンを長押しする

再生を止めるには[再生]ボタンを１秒以上長く押します（メインランプ消灯）。
[再生]ボタンを短く押したときは一時停止になります（メインランプ点滅）。

再生時の操作

ボイスメモは選択したメディアの１番目から始まり、すべてのメモを再生するとオートリピートして、最初のメモへ戻ります。
カードが入っているときで、内蔵メモリが選択したときは、内蔵メモリの再生→カードの再生→内蔵メモリの再生という順番で繰り返します。カードが選択されているときは、カードの再生から始まり、内蔵メモリへと繰り返します。



■再生ボタン

長押しで停止（メインランプ消灯）。
短押しで一時停止（メインランプ点滅、再度[再生]ボタンを押すと再生開始）。

■メインランプ

ストップ状態で消灯。
再生中は点灯、一時停止中は点滅（色は電池残量によって変化する）。

■メモ送りボタン/早送りボタン

次のボイスメモを再生。
押し続けると、同一ボイスメモ内の早送り。

■メモ戻しボタン

再生中のボイスメモの先頭から再生。２回続けて押すと、前のボイスメモの先頭から再生。
内蔵メモリのボイスメモを再生中は、押し続けると同一ボイスメモ内の早戻し。

■録音ボタン

停止後、押すと、再生時は先頭のメモから再生。

■音量＋ボタン

音量を上げる。
押し続けると上がり続ける。

■音量－ボタン

音量を下げる。
押し続けると下がり続ける。

再生中は絶対にカードを抜かないでください。カードを抜くときは、必ず［再生］ボタンを長押してメインランプが消灯していることを確認してください。

レジューム機能について

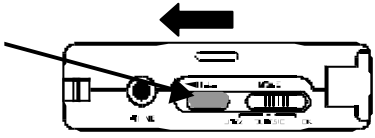
[再生]ボタンを長押しして停止しても、再度[再生]ボタンを押したときには、停止した位置から自動的に再生します（レジューム機能）。
ただし、以下の操作を行った場合は、レジューム機能がキャンセルされます。

- [音量－]を押し、音楽モードとボイスメモモードを切り替えたとき。
- [音量＋]を押し、メディア選択を行ったとき。
- [録音]ボタンを押したとき。
- パソコンと接続したとき。
- 電池を入れ替えたとき。
- カードを再生中に[再生]ボタンを長押しした場合は、そのカードを入れ替えたとき。

誤操作を防ぐには（ボタンロック）

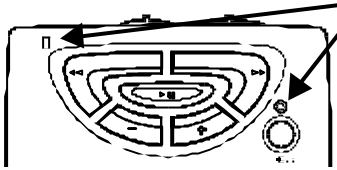
HyperHyde をポケットなどに入れておくと、どこかのボタンが接触して誤操作を招く場合があります。 [ホールド]ボタンをホールド位置にしておけば、一切のボタン操作を無効にする（ロックする）ことができます。

左側にスライドした
状態がホールド状態



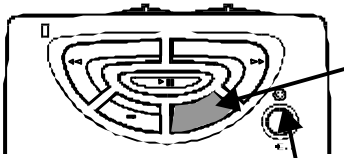
選択したメディアの内容をすべて消すには

1 ストップ状態を確認する



メインランプと録音ランプがともに消えていることを確認してください。

2 [音量＋]ボタンを押して、消したいメディアを選ぶ



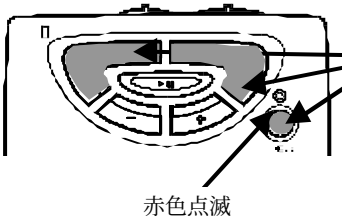
点灯色を確認

- **緑色点灯：内蔵メモリを選択**
- **赤色点灯：カードを選択**

消したいメディアが選択されるまで、[音量＋]ボタンを何回か押してください。（ボタンを離すと点灯色も消えます）

> **選択したメディアの内容（音楽もボイスメモも）はすべて消えるので、選択するメディアを間違えないように注意してください。**

3 [曲送り]ボタンと[曲戻し]ボタンと[録音]ボタンを同時に押す



赤色点滅

３つのボタンを同時に押してください。
選択したメディアに録音されている全データ（音楽・ボイスメモ含む）が１度に消去されます。消去開始後、録音ランプが赤色点滅します。消去が終了すると、消灯します。

パソコンでボイスメモを活用するには (Windows 編)

本製品添付の「HyperHyde Manager for USB」を使うと、パソコン側でボイスメモを加工したり、電子メールに添付する、といった活用ができます。
ここでは Windows をお使いの場合の説明を行ないます。Macintosh をお使いの場合 94 ページへ進んでください。

パソコンにボイスメモをコピーする

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde Manager for USB がインストールされていること
- カードに録音されているときは、カードが入っていること

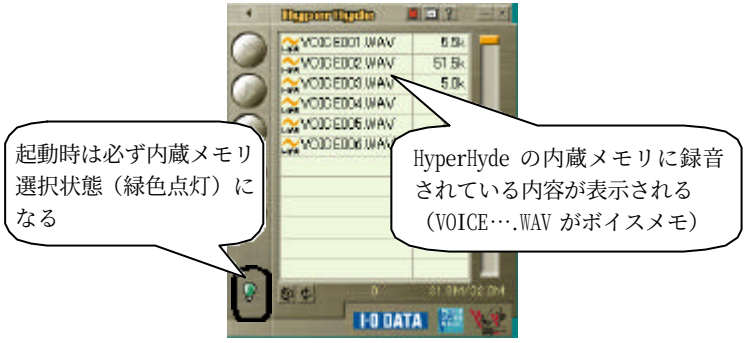
1 HyperHyde をパソコンと接続します。

接続方法は 23 ページを参照してください。メインランプが赤色点灯することを確認します。

2 [スタート]→[プログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde Manager for USB]を順にクリックします。

3 アイコンが緑色に点灯していることを確認します。

電灯アイコンが緑色に点灯していないときは HyperHyde がパソコンと正しく接続されていません。接続を確認してください。



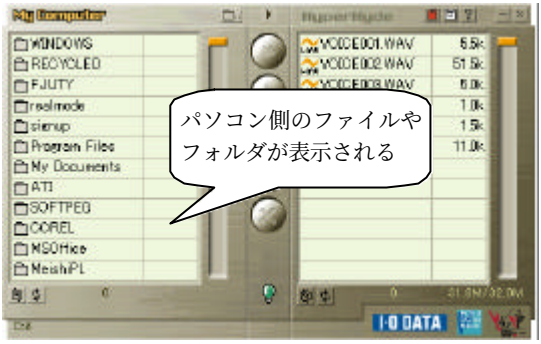
4 ボイスメモがカードに録音されているときは、ボタンをクリックして、カードに切り替えます。

ボタンの絵が に変わります。

内蔵メモリに切り替えたいときは、ボタンをクリックします。

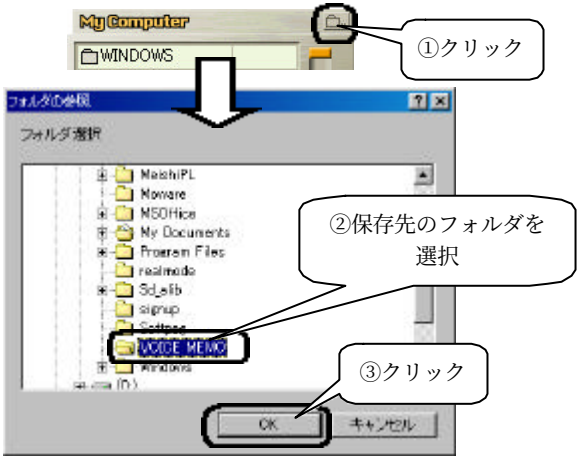
5 をクリックします。

左側にパソコンの内容を表示する画面が表示されます。



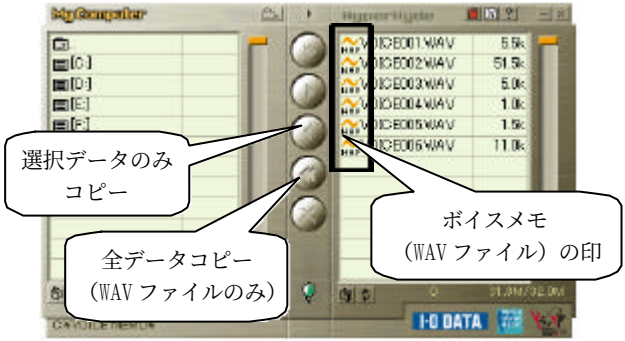
6 をクリックするか、表示されているフォルダをダブルクリックして、保存先のフォルダを選択します。

保存先のフォルダはあらかじめ作成しておく必要があります。



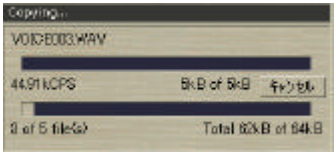
7 右側に表示されている全データをコピーしたい場合は ボタンをクリックします。

必要なデータだけをコピーしたい場合は、データをクリックして（[CTRL]キーを押しながらクリックすると複数選択可）、 ボタンをクリックします。



8 コピーを開始します。

処理中のバロメータは右から左へと進みます。処理中の画面が消えるまで、そのまましばらくお待ちください。



注意！

1. **ボイスメモは「VOICExxx.WAV」（xxx は001 からの連番）というファイル名で保存されています。ボイスメモの内容が判別できないときは、とりあえず、すべてのボイスメモをパソコン側にコピーしてパソコン側で再生してみるか、HyperHyde で再生して順番をカウントしてください。**
   （1番目に再生されるのが、VOICE001.WAV）。
2. **処理中の画面が表示されているとき（メインランプ点滅中）は、以下のことは絶対に行わないでください。**
   - **USB ケーブルを抜くこと。**
   - **HyperHyde のボタン操作を行うこと。**

9 コピーしたボイスメモが左側の画面に表示されれば、コピー完了です。

10 45 ページ「HyperHyde を取り外す」を参照して、パソコンから HyperHyde を取り外します。

特に Windows 2000 をお使いの場合は、USB ケーブルを取り外す前に「ハードウェアの停止作業」が必要ですので、正しい手順で取り外してください。

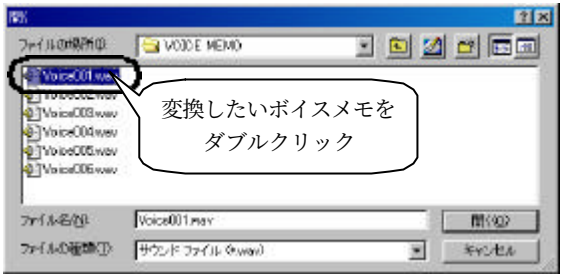
パソコンでボイスメモを再生する

HyperHyde Manager for USB をインストールしたパソコンの場合は、コピーしたボイスメモをダブルクリックするだけで再生できますが、別のパソコンで再生したい場合や電子メールに添付する場合は、以下のようにデータ形式を変換してください。

1 Windows 標準添付のソフトウェア「サウンド レコーダー」を起動します。

[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[ｱｸｾｻﾘ]-[ｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ]-[ｻｳﾝﾄﾞﾚｺｰﾀﾞｰ]を順にクリックします。

2 [ファイル]メニューの[開く]を選び、変換したいボイスメモ（WAV ファイル）をダブルクリックします。

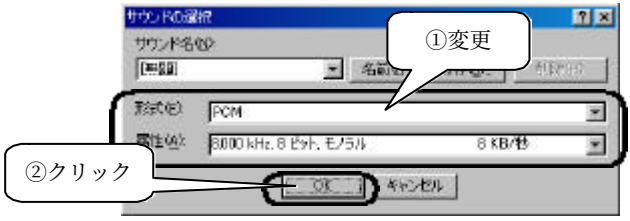


3 [ファイル]-[名前を付けて保存]をクリックします。

4 形式が[MI-SC4 8,000 Hz, モノラル]となっているので、[変更]ボタンをクリックします。

5 以下のように設定して、[OK]ボタンをクリックします。

形式：[PCM]、属性：[8,000 kHz, 8 ビット,モノラル]



6 必要ならばファイル名や保存フォルダを変更して、[保存]ボタンをクリックします。

そのまま[保存]ボタンを押すと上書きします。

電子メールに添付する場合や別のパソコンで再生する場合は、保存した WAV ファイルを使ってください。

パソコンでボイスメモを活用するには (Macintosh 編)

パソコンにボイスメモをコピーする

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- HyperHyde Manager for USB がインストールされていること
- カードに録音されているときは、カードが入っていること

1 HyperHyde をパソコンと接続します。

接続方法は 58 ページを参照してください。メインランプが赤色点灯することを確認します。

2 [HyperHyde Manager]フォルダを開き、[HyperHyde Manager for USB]をダブルクリックします。

この後の使い方は Windows 版とほぼ同じです。87 ページ「パソコンにボイスメモをコピーする」を参照してください。
ここでは、相違点だけを記しますので、参考にしてください。

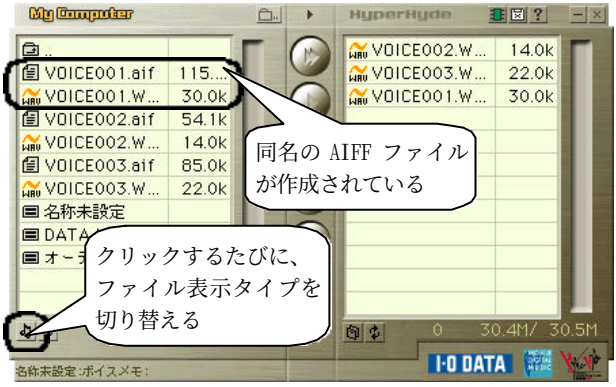
- パソコン側のフォルダを指定するとき
  89 ページ「手順 **6**」: Macintosh 標準のフォルダ指定画面が表示されるので、MP3 データが保存されているフォルダを指定してください。

- コピーボタンをクリックしたとき

  90 ページ「手順 **7**」：次の画面が表示されます。ボイスメモは WAVE 形式データですが、Macintosh の音声フォーマットである AIFF 形式のデータも同時に作成する場合は[ＯＫ]ボタンをクリックします。

- 作成された AIFF ファイルを確認したいとき

  91 ページ「手順 **9**」：コピー後の左側画面には WAVE 形式のファイルしか表示されませんが、作成した AIFF 形式のファイルを確認したい場合は、左側画面下の ボタンをクリックします。



3 HyperHyde のメインランプが点滅していないことを確認して、パソコン側の USB ポートから USB ケーブルを取り外します。

USB ケーブルの取り外しは、パソコンが起動中でも可能です。

4 HyperHyde 側の USB コネクタを抜き、コネクタのラバーカバーを閉めます。

パソコンでボイスメモを再生する

ボイスメモをコピーしたフォルダを開けると、次のように、WAV 形式のファイルと AIFF 形式のファイルが作成されています。

Macintosh 上でボイスメモを再生・加工したい場合は、AIFF 形式のファイルをダブルクリックしてください。
WAV 形式のファイルは Macintosh 上では再生できませんが、再度 HyperHyde にコピーすると、HyperHyde 側で再生できます（AIFF 形式のファイルは HyperHyde では再生できません）。
電子メールに添付する場合は、相手のパソコン環境に合わせて、添付する形式を選んでください。

6 故障かなと思う前に

トラブルQ＆A＜目次＞

HyperHyde 使用時のトラブル

どのボタンを押しても反応しない …… 99
[再生]ボタンを押しても音楽やボイスメモが再生しない…… 100
ボイスメモが録音できない …… 101
カードを入れたが、スロットカバーが閉じない …… 101
カードが出せない …… 101
ボイスメモ録音中に、メインランプが消灯した …… 102
音楽を再生すると、音飛びがする …… 102

インストール時のトラブル（Windows 編）

HyperHyde を接続すると「新しいハードウェアの追加」画面が
表示される …… 103
[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されない、または
先頭に！マークが付いている …… 103

インストール時のトラブル（Macintosh 編）

HyperHyde を接続すると「USB 装置"名称未設定装置"……
必要なソフトウェアが見つかりません」と表示される …… 105

MP3 JUKEBOX 使用時のトラブル

起動するとダイヤルアップ接続画面が表示される …… 105
CD-ROM ドライブが認識されない …… 106
CD/DVD ドライブの最適化時に、音楽 CD を挿入していない
ドライブへの挿入要求が表示される …… 106
MP3 データ作成に大変時間がかかる …… 106

HyperHyde Manager for USB 使用時のトラブル

MP3 JUKEBOX で作成した MP3 データが表示されない …… 107
ファイルコピーができない …… 108
録音する曲順が思い通りにならない …… 108
MP3 データのフォルダ名やファイル名などがわかりにくい …… 109

トラブルQ＆A

原因が複数ある場合は簡単なものから先に説明してあるので、上から順番に解決してください。

HyperHyde 使用時のトラブル

どのボタンを押しても反応しない

原　　因	ホールド状態になっている。
解決方法	ホールドボタンがホールド位置になっていないか、確認してください。ホールド位置になっていたら、逆の方向へスライドさせてください。 76 ページ「誤操作を防ぐには（ボタンロック）」参照

原　　因	電池が入っていないか，電池切れである。
解決方法	[音量－]ボタンを押しても、メインランプが点灯しない場合は、電池が入っていないことが考えられます。 電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を入れ直してください。 新しい電池に変えてみてください。 10 ページ「電池を入れる」参照

原　　因	内蔵メモリやカードに何も録音されていない。
解決方法	この場合は[再生]ボタンを押してもメインランプが点灯しません。 内蔵メモリに録音するか、録音済みのカードを挿入してください。 「HyperHyde に録音する」 Windows の場合：37 ページ参照 Macintosh の場合：69 ページ参照 14 ページ「カードを入れる」参照

原　　因	USB ケーブルが接続したままである。
解決方法	HyperHyde 側の USB コネクタを外してください。

[再生] ボタンを押しても音楽やボイスメモが再生しない

原　　因	音量が小さい。
解決方法	メインランプが点灯している場合は、音量が小さすぎることが考えられます。[音量＋]ボタンを押して音量を上げてください。 75 ページ「音楽再生中の操作」参照

原　　因	モードが違う。
解決方法	メインランプが点灯している場合は、[再生]ボタンを長押しして、メインランプと録音ランプが消灯している状態（ストップ状態）にしてください。その後、再生したいモードになるまで、何回か[音量－]ボタンを押します（モードはメインランプの色で判断）。 【メインランプ色とモード】 ● 音楽を再生したいとき：緑色点灯 ● ボイスメモを再生したいとき：赤色点灯 73 ページ「HyperHyde で音楽を聴く」参照 82 ページ「ボイスメモを聞く」参照

原　　因	ストップ状態で[再生]ボタンを押していない。
解決方法	[再生]ボタンを長押しして、メインランプと録音ランプが消灯している状態（ストップ状態）にしてください。この後、[再生]ボタンを押すと、音楽が再生されます。 73 ページ「HyperHyde で音楽を聴く」参照 82 ページ「ボイスメモを聞く」参照

原　　因	内蔵メモリやカードに曲やボイスメモが録音されていない。
解決方法	この場合は[再生]ボタンを押してもメインランプが点灯しません。内蔵メモリに録音するか、録音済みのカードを挿入してください。 「HyperHyde に録音する」 Windows の場合：37 ページ参照 Macintosh の場合：69 ページ参照 14 ページ「カードを入れる」参照

原　　因	USB ケーブルを接続したままである。
解決方法	HyperHyde 側の USB コネクタを外してください。

ボイスメモが録音できない

原　　因	ボイスメモモードになっていない。
解決方法	[再生]ボタンを長押しして、メインランプと録音ランプが消灯している状態（ストップ状態）にしてください。 その後、メインランプが赤色点灯するまで何回か[音量－]ボタンを押します。これでボイスメモモードになります。[録音]ボタンを押すと、約２秒後に録音を開始します。 80 ページ「ボイスメモを録音する」参照

原　　因	空き容量がない。
解決方法	HyperHyde Manager for USB を起動して、内蔵メモリまたはカードの空き容量を確認してください。 なお、内蔵メモリに音楽やボイスメモが全く入っていない場合は、約２時間のボイスメモが録音できます。 「パソコンでボイスメモを活用するには」 Windows の場合：87 ページ参照 Macintosh の場合：94 ページ参照

カードを入れたが、スロットカバーが閉じない

原　　因	挿入するカードの向きが違っている。
解決方法	カードの向きが違っていると、カードを奥まで挿入できないので、スロットカバーを閉じることができません。 もう１度、カードの向きを確認してください。 14 ページ「カードを入れるには」参照

カードが出せない

原　　因	－
解決方法	HyperHyde を裏向けにすると、挿入してあるカードの端に溝があるので、その溝にツメを引っ掛けて取り出してください。 15 ページ「カードを抜くには」参照

ボイスメモ録音中に、メインランプが消灯した

原　　因	空き容量がない。
解決方法	HyperHyde Manager for USB を起動して、内蔵メモリまたはカードの空き容量を確認してください。 「パソコンでボイスメモを活用するには」 Windows の場合：87 ページ参照 Macintosh の場合：94 ページ参照 内蔵メモリやカードに録音されているボイスメモを消去するか、新しいカードをお買い求めください。 なお、録音中に空き容量がなくなったときは、それまでの音声は自動的に保存されています。

原　　因	電池が切れた。
解決方法	新しい電池に替えてください。 10 ページ「電池を入れる」参照 なお、この場合は、それまでの音声は保存されません。録音するときにメインランプ色が赤色の場合は、新しい電池に取り替えることをおすすめします。

音楽を再生すると、音飛びがする

原　　因	音楽録音時に使用している CD-ROM ドライブが、オーディオキャプチャに対応していない。
解決方法	オーディオキャプチャに対応した CD-ROM ドライブを使用してください。

原　　因	―
解決方法	同じ個所で音飛びする場合は、全部の曲を削除（フォーマット）してから MP3 データを転送（録音）し直してください。 77 ページ「選択したメディアの内容を消すには」参照

インストール時のトラブル（Windows 編）

HyperHyde を接続すると、「新しいハードウェアの追加」画面が表示される

原　因	サポートソフトがインストールされていない。
解決方法	サポートソフトは HyperHyde を接続する前にインストールします。サポートソフトがインストールされていない状態で HyperHyde を接続すると「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。 [キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じた後、HyperHyde を取り外してから、サポートソフトのインストールを行ってください。 21 ページ「サポートソフトのインストール」参照

原　因	正しくインストールされていない。
解決方法	「インストールした情報を削除するには」を行って、１度アンインストールしてから、再度、インストールを行ってください。 「サポートソフトの削除」 Windows 98/Me の場合：47 ページ参照 Windows 2000 の場合：48 ページ参照 21 ページ「サポートソフトのインストール」参照

[I-O DATA MDM-H2/USB]が表示されない、または先頭に！マークが付いている

原　因	パソコンと HyperHyde が正しく接続されていない。
解決方法	パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、HyperHyde 側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 別の USB ポートに差し込んでみてください。 USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。 23 ページ「パソコンと HyperHyde を接続する」参照

原　　因	正しくインストールされていない。
解決方法	「インストールした情報を削除するには」を行って、1度アンインストールしてから、再度、インストールを行ってください。 「サポートソフトの削除」 Windows Me/98 の場合：47 ページ参照 Windows 2000 の場合：48 ページ参照 21 ページ「サポートソフトのインストール」参照

原　　因	「その他のデバイス」として誤認識されている。
解決方法	以下の手順で誤認識したデバイスをいったん削除して、再度インストールしてください。 ①HyperHyde を接続した状態で Windows を起動します。 ②[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]で[種類別]を選択し、[ユニバーサル シリアルバスコントローラ]をダブルクリックしたときに表示される USB コントローラ名を控えます。（[・・・Universal Host Controller]などと表示されます。） ③[接続別に表示]に変更し、控えた USB コントローラの表示を探します。([プラグアンドプレイ BIOS]の下やその下の[PCI バス]の下にある場合があります。） ④探し出した USB コントローラをダブルクリックします。 ⑤その下に表示されるデバイス名をすべて控えます。 ⑥HyperHyde をパソコンから取り外し、USB コントローラの下で先ほど控えたデバイス名の中から消えたデバイス名がないか確認します。 ⑦消えたデバイス名が誤認識したデバイスですので、再度 HyperHyde を接続し、デバイスマネージャから誤認識したデバイスを[削除]ボタンで削除します。なお、USB コントローラのすぐ下に誤認識したデバイスがない場合は、[USB ルートハブ]や[一般 USB ハブ]といった項目がありますので、その下に誤認識したデバイスがないか、同様の手順で確認してください。 ⑧デバイスマネージャを終了させてからケーブルを差し直して、インストール画面がでないかご確認ください。 Windows Me/98 の場合：25 ページ参照 Windows 2000 の場合：26 ページ参照 21 ページ「サポートソフトのインストール」参照

インストール時のトラブル（Macintosh 編）

HyperHyde を接続すると、『USB 装置" 名称未設定装置" ……必要なソフトウェアが見つかりません」と表示される

原　　因	サポートソフトがインストールされていない。
解決方法	サポートソフトは HyperHyde を接続する前にインストールします。 サポートソフトがインストールされていない状態で HyperHyde を接続すると、このメッセージが表示されます。 [ＯＫ]ボタンをクリックして画面を閉じた後、HyperHyde を取り外してから、サポートソフトのインストールを行ってください。 56 ページ「サポートソフトのインストール」参照

MP3 JUKEBOX 使用時のトラブル

起動すると、ダイヤルアップ接続画面が表示される

原　　因	CDDB 接続設定になっている。
解決方法	CDDB 接続とは、インターネットの CD データベースに接続して、セットした音楽 CD のタイトル名や曲名を自動的にダウンロードするシステムです。 インターネット接続環境をお持ちの場合は、CDDB 接続できます。そのままダイヤルアップ接続を行ってください。 インターネット接続環境をお持ちでない場合は、[CDDB 接続をしない]にチェックして、[ＯＫ]ボタンをクリックしてください。

CD-ROM ドライブが認識されない（Windows 版のみ）

原　　因	CD/DVD ドライブの最適化が正しく行われていない、または、１度最適化を行ったあとに、CD/DVD ドライブを追加した。
解決方法	下記の方法を行ってください。 1．すべての CD/DVD ドライブに音楽 CD をセットします。 2．Windows の場合 [Options]メニューの[環境設定]を選び、[Recorder 設定]タブをクリックします。 3．[高度な設定]ボタンをクリックし、[ドライブの最適化]ボタンをクリックし、[OK]ボタンを押してください。

CD/DVD ドライブの最適化時に、音楽 CD を挿入していないドライブへの挿入要求が表示される

原　　因	CD/DVD ドライブの最適化時に、すべての CD/DVD ドライブに音楽 CD をセットしていない。
解決方法	すべての CD/DVD ドライブに音楽 CD をセットしてから、[OK]ボタンをクリックしてください。

MP3 データ作成に大変時間がかかる

原　　因	パソコン環境のため。
解決方法	音楽 CD から MP3 データを作成するために必要な処理時間はお使いのパソコン環境に大きく左右されます。 作成中はそのままお待ちください。

HyperHyde Manager for USB 使用時のトラブル

MP3 JUKEBOX で作成した MP3 データが表示されない

原　　因	違うフォルダを参照している。
解決方法	● Windows の場合 標準設定ならば、My Document フォルダの My Music というフォルダの下に保存されています。 35 ページ「作成した MP3 データファイルを確認する」参照 MP3 JUKEBOX で設定されている保存先フォルダを確認するには、[Options]メニューの[環境設定]を選び、[Recorder 設定]タブをクリックします。 [保存先設定]ボタンをクリックします。 ● Macintosh の場合 標準設定ならば、MusicMatch MP3 JUKEBOX フォルダの Music というフォルダの下に保存されています。 66 ページ「作成した MP3 データファイルを確認する」参照 MP3 JUKEBOX で設定されている保存先フォルダを確認するには、[コントロール]メニューの[Recorder]→[環境設定]を選びます。 [保存先設定]の[変更]ボタンをクリックします。

ファイルコピーができない

原　　因	USB ケーブルが正しく接続されていない。
解決方法	電灯アイコンが緑色または赤色に点灯していることを確認してください。点灯していないときは、接続を確認してください。 23 ページ「パソコンと HyperHyde を接続する」参照

原　　因	同名のファイルがすでに存在する。
解決方法	ファイル名をダブルクリックするとファイル名を変更できるので、ファイル名を変更してからコピーするか、上書きコピーを行ってください。

原　　因	コピー先の空き容量がない。
解決方法	HyperHyde 側の空き容量は画面右下に表示されています。確認してください。空き容量が不足する場合は、録音済みの曲を削除するか、新しいカードをお買い求めください。 37 ページ「HyperHyde に録音する」参照

原　　因	スタンバイやサスペンド機能を使用している。
解決方法	HyperHyde Manager for USB を使用する場合は、スタンバイやサスペンド機能を使用しないでください。

原　　因	HyperHyde 側から、MP3 ファイルを読み込もうとしている。
解決方法	著作権上、HyperHyde 側から MP3 ファイルをコピーすることはできません。

録音する曲順が思い通りにならない

原　　因	―
解決方法	HyperHyde に録音した後で曲順を変更することができます。 「録音した曲順を変更するには」 Windows の場合：41 ページ参照 Macintosh の場合：69 ページ参照

MP3データのフォルダ名やファイル名などがわかりにくい

原　　因	「MP3 JUKEBOX」でMP3変換するときに、アーティスト名やタイトル名、曲名が入力されていない。
解決方法	「MP3 JUKEBOX」のRecorderウィンドウで、アーティスト名やタイトル名、曲名を入力しておけば、その入力したアーティスト名・タイトル名のフォルダが自動的に作成され、曲名がMP3のファイル名になるので、HyperHydeに録音するときにわかりやすくなります。 インターネット接続環境がある場合は、CDDB 接続するとアーティスト名やタイトル名、曲名を自動的に取得できます。 Windows の場合：32 ページ参照 Macintosh の場合：64 ページ参照

簡単なお手入れ

■汚れたときは

乾いた柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい場合は、かたく絞った布で拭いた後、必ず乾いた布でからぶきしてください。

■濡れたときは

できるだけ早く、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。

注意！

1. **ベンジンやシンナーなどの薬品類は絶対に使わないでください。変色、変質のおそれがあります。**
2. **油をささないでください。故障の原因になります。**

■プラグなどのお手入れ

ヘッドホンのプラグは常にきれいにしておいてください。プラグに汚れがつくと、雑音が入ることがあります。

7 付　録

ハードウェア仕様

■基本仕様■

型式番号	MDM-H2/USB
内蔵メモリ	32M バイト
カードスロット	MultiMediaCard 用×１スロット
デコードフォーマット	MP3（32K～320Kbps）
電源	単４アルカリ乾電池×１
バッテリ駆動時間	約６時間（当社測定値）
外形寸法	46×54×16 mm（ベルトクリップは除く）
質量	本体：30g（電池、MultiMediaCard 除く） ベルトホルダー：6g
ヘッドホン端子	φ3.5mm ミニ
端末インターフェイス	USB Spec 1.0 準拠 電源電圧：バスパワー/5.0V

■オーディオ部仕様■

再生歪率	0.25%以下
S/N 比	90dB
ヘッドフォン出力	5mW
周波数特性	20-20kHz

用語解説

CD EXTRA（シーディ エクストラ）

音楽CDとCD-ROMの両方の機能を兼ね備え、CDプレーヤーとパソコンのどちらでも再生を可能にした規格、または、その規格に準拠して作成されたディスク。
普通の音楽CDと同じようにオーディオCDプレーヤーで音楽を聴くことができ、パソコンで文字情報や写真、ビデオ画像などが楽しめます。

MP3（エムピースリー） (*MPEG-1 Audio Layer 3*)

MPEG Audio 規格は音声情報圧縮技術の規格で、Layer 1が1/4、Layer 2が1/8、Layer 3が1/10の圧縮率を得ることができる。音楽CD並の高音質を得ることができるため、小型再生装置（携帯プレーヤーなど）やインターネットでの配布に便利。

MMC（エムエムシー） (*MultiMediaCard*)

超小型、超軽量の次世代デジタルメディア（記憶媒体）。主にマルチメディア機器の媒体として注目されている。HyperHydeの他、デジタルカメラなどでも使われている。リムーバブルなので大容量にも柔軟に対応でき、MDやカセットテープのような手軽さで扱うことができる。

USB（ユーエスビー） (*Universal Serial Bus*)

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと周辺機器の接続性向上、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USBポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。転送速度は、高速用に12Mbps（シールド付きケーブルで最長5mまで）と、低速用に1.5Mbpsの２種類ある。

エンコード／デコード

エンコードとは、データを一定の規則に従って符号化すること、あるいはそのソフトおよびハードを指す場合もある。エンコードされたデータを元に戻すことをデコードという。

オーディオキャプチャ

音楽CDなどの音声をファイルなどに取り込むこと。

サンプリングレート

サンプリングを行う間隔時間。単位は秒。1秒間に行うサンプリングの回数をいう場合はHz（ヘルツ）を単位とする。サンプリング・レートが大きいほど、精度は高くなるが、データ数は増大する。一般的に音楽CDのサンプリングレートは44kHz。

ビットレート

1秒間に転送されるビットデータ量。

アフターサービス

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット **http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを使用して、
E-Mail をお送りください。

@ nifty **ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ (IODATA) サポート会議室**

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「MDM-H2/USB」係 宛

■電話

電話番号 金沢 **076-260-3646**
東京 **03-3254-1036**
受付時間 9:30～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

■FAX

FAX 番号 金沢 **076-260-3360**
東京 **03-3254-9055**
宛先 株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「MDM-H2/USB」係 宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」
@nifty　アイ・オー・データステーション（IODATA）ライブラリ

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「MDM-H2/USB」サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源 ON で挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『MDM-H2/USB」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　『MDM-H2/USB」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。